

宮城県試験研究機関評価委員会
機関評価資料

資料 1



令和5年9月7日
宮城県古川農業試験場

目 次

1	管内の概要	1
2	古川農業試験場の運営方針・重点分野について	
(1)	令和4年度試験研究の基本方針及び主要目標	1
(2)	令和4年度試験研究課題の体系図	3
3	研究開発・支援体制について	
(1)	組織機構と職員数	6
(2)	職員の分担等	7
(3)	研究予算等の状況	9
4	研究者の確保・育成	
(1)	研究職員の研修状況	10
(2)	表彰等	11
5	研究設備・施設・備品等、研究環境の整備について	
(1)	土地・施設・研究備品等の概要	15
(2)	重要物品導入状況	24
6	試験研究課題・共同研究の状況	
(1)	受託試験（令和4年度）の概要	26
7	研究成果・技術指導の状況（令和2年～令和4年）	
(1)	「普及に移す技術」等に提出した課題	28
(2)	研究成果情報	29
(3)	特許・品種登録関係	29
(4)	研究発表等	31
(5)	刊行物・広報・普及資料の発行及び配布	36
(6)	研修、技術指導、見学者等	36
(7)	研修等受け入れ	45
8	研究マネジメントについて	
(1)	農業系試験研究機関の連絡調整会議実施状況	46
(2)	場内調整会議、各種委員会等の設置	52
(3)	業務評価	53

1 管内の概要

(1) 位置

本場は、大崎市古川大崎字富国88番地に位置する。ただし、作物育種部原種生産チームは、農業・園芸総合研究所が管理する岩沼庁舎で勤務している。本場がある大崎地域は宮城県北西部に位置し、西部の山岳地帯、山岳地帯から広がる丘陵地帯、中央部から東部に広がる平坦地帯の3地帯に大別され、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の1市4町で構成されている。農用地面積は32、485haで総面積の21.3%を占めており、中でも水田面積は29、605haと19.4%を占め、県平均(13.8%)よりも高い状況となっている。

(2) 沿革

明治36年(1903) 宮城県農事試験場が名取郡茂ヶ崎村(現仙台市太白区長町)に創立、明治41年に宮城県立農事試験場に改める

大正10年(1921) 宮城県立農事試験場が名取郡岩沼町(現農業・園芸総合研究所)へ移転する際に、宮城県立農事試験場分場として志田郡古川町(現大崎市古川諏訪)に創立

昭和2年(1927) 農林省委託の水稲育種指定試験事業が宮城県立農事試験場(岩沼町)で開始

昭和21年(1946) 宮城県立農業試験場と改称

昭和22年(1947) 水稲育種指定試験事業が農林省古川農事改良実験所に移管

昭和26年(1951) 上記水稲育種指定試験事業が宮城県立農業試験場分場に移管

昭和28年(1953) 宮城県立農業試験場古川分場と改称

昭和48年(1973) 宮城県古川農業試験場として独立。総務課、試験研究部設置

昭和52年(1977) 試験研究部を育種部と栽培部の2部制に改組

平成11年(1999) 3月、古川市大崎(現大崎市古川大崎)に移転

平成11年(1999) 4月、グループ制導入に伴い、総務課を総務班に改組

平成13年(2001) 4月、組織再編に伴い、農業センターから土地利用型作物(水稲、麦類、大豆)に関連する研究部門を移管し、基盤整備分野を新設して、作物育種部、水田利用部、土壌肥料部、作物保護部の4研究部体制に改組

平成31年(2019) 4月、組織再編に伴い、試験研究部門を水田営農部、作物育種部、作物栽培部、作物環境部の4部制に改組し、併せて、農業・園芸総合研究所の水稲、麦類、大豆の原原種・原種の生産部門(岩沼市)を作物育種部に移管

2 古川農業試験場の運営方針・重点分野について

(1) 令和4年度試験研究の基本方針及び主要目標

県では、「みやぎ食と農の県民条例」に基づき、本県の食と農に関する総合的な計画として、食と農を取り巻く情勢の変化や、SDGs(持続可能な開発目標)の観点も踏まえ、令和3年度を初年度とする第3期「みやぎ食と農の県民条例基本計画」(令和3年度～令和12年度、以下「基本計画」

という。)を策定し、各種施策を積極的に推進している。

農業関係試験研究機関において「基本計画」に掲げる施策の推進方向や食と農に関する他の計画等を踏まえ、令和3年度から12年度までの10か年で重点的に取り組む「第9次農業試験研究推進構想」(以下「推進構想」という。)を令和3年3月に策定した。この構想では、多様化、高度化する時代のニーズへの対応、農業・農村を取り巻く現状の課題や将来の変化に対応できる安定生産技術の開発、省力化や生産性の向上を図るためのICTを活用したアグリテックの推進、環境負荷軽減に向けた技術開発等を推進するため、3つの主要目標と13の重点テーマを設定し、新たな技術開発と開発された技術の社会実装を進めることとした。

<主要目標及び古川農業試験場で進める重点テーマ>

主要目標	重点テーマ
時代のニーズに対応した農畜産物の安定供給のための研究	・農産物の安全性確保に向けた生産管理技術の確立
革新技術の活用による戦略的な農業生産のための研究	・ターゲットを明確に定めた新品種育成と新品目導入 ・主要農作物優良種子の安定供体制の強化 ・大規模園芸産地を実現する栽培管理技術の確立 ・アグリテックの推進に向けた農業生産技術の確立 ・農産物の高品質・高収益生産技術の確立 ・遺伝情報やバイオテクノロジーの実用技術の確立 ・生産基盤の管理技術と農地の高度利用技術の確立
持続可能な農業生産環境の構築に向けた研究	・農業生産環境の維持・向上のための技術の確立 ・気象変動や異常気象に適応した生産管理技術の確立

一方、生産現場においては、従来からの課題である農業従事者の高齢化や担い手不足、農産物の需給バランスの不均衡や価格の低迷、農畜産物の安全・安心への関心の高まりなどへの対応に加え、米価下落や新型コロナウイルスの感染拡大、地球温暖化による農作物への影響などの更なる対応が求められたことから、「推進構想」の取組2年目に当たる令和4年度は「みどりの食料システム戦略」等、新たな国の施策を見据え、国内外の研究機関、大学や民間企業との共同研究等の取組を強化しながら、主要目標の達成に向けて着実に試験研究を推進し、生産者や市町村、農業関係団体、普及組織等と連携の上、研究成果の現地への速やかな社会実装を図るとともに、農業・園芸総合研究所、畜産試験場、古川農業試験場の連携による早期の課題解決むけ、令和4年度から、次に掲げる課題を「共通テーマ」として定め、一体的な研究に取り組んでいる。

<共通テーマ>

- 1 水田の高度利用による作付け転換・輪作体系の推進
- 2 気候変動に適応した農業技術の確立と効果的な社会実装

(2) 令和4年度農業関係試験研究課題体系図 (重点テーマについては、本場での個別課題のないものを省略しています。)

第9次試験研究推進構想 (令和3年度～令和12年度)			令和4年度農業関係試験研究計画個別課題名	関係部	令和4年 予算額 (千円)	予算 区分	研究期間 (年度)
主要目標	重点テーマ	研究領域					
I 時代のニーズに対応した農畜産物の安定供給のための研究	2 農畜産物の安全性確保に向けた生産管理技術の確立	1) 生産資材の効果の確認と活用技術の開発	(1) 農作物病害虫防除等の新農薬並びに新肥料資材効果確認試験	作物環境部 作物栽培部	5,528	受託	2022 (単年度契約)
		2) 化学物質等の動態把握と農作物への吸収抑制対策技術の開発	(1) 超低カドミウム稲を用いた汚染土壌対策の実証	作物環境部	361	事業	2019～2023
			(2) 水稻のヒ素吸収における水管理効果実証試験 (3) 国産農作物中のかび毒及びかび毒類縁体の動態解明並びに汚染の防止及び低減に関する研究	作物環境部 作物環境部 作物環境部	390 1,538	事業 事業 受託	2019～2023 2019～2023 2018～2022
II 革新技術の活用による戦略的な農業生産のための研究	4 ターゲットを明確に定めた新品種育成と新品目導入	1) 水稻の新品種育成と水稻・麦類・大豆の優良品種の選定	(1) 水稻品種の育成	作物育種部	2,125	県単 受託	2011～ 2018～2022
			(2) 寒冷地中部向きの複合抵抗性を有するCd低吸収性主力品種の育成	作物育種部	2,101		
			(3) 宮城県に適した超多収水稻品種開発に向けた中間母本の育成	作物育種部	290	県単	2019～2023
			(4) カドミウム低吸収性イネ品種の早期育成	作物育種部	764	事業 受託	2019～2023 2021～2025
			(5) 精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稻品種の育成	作物育種部	7,000		
	(6) 水稻優良品種決定調査	作物育種部	585	県単 県単	1953～ 2007～		
(7) 麦類・大豆の加工適性を重視した品種選定と栽培法の確立	作物育種部 作物栽培部	669					
5 優良種子・種畜の安定供給体制の強化	1) 水稻・麦類・大豆の優良種子の安定供給体制	(1) 主要農作物原種事業	作物育種部	8,470	事業	1974～	
6 アグリテックの推進に向けた農業生産技術の確立	1) ICT・ロボット技術等の活用技術の開発	(1) 水田におけるアグリテックの活用による新たな栽培体系の確立 (2) 除草効果を安定させるほ場管理技術の開発とICTの活用 (3) 水田営農におけるRTK-GNSSシステムを利用した作業性の評価検証	(1) 水田におけるアグリテックの活用による新たな栽培体系の確立	水田営農部	1,845	県単	2021～2023
			(2) 除草効果を安定させるほ場管理技術の開発とICTの活用	作物栽培部	514	県単	2020～2024
			(3) 水田営農におけるRTK-GNSSシステムを利用した作業性の評価検証	水田営農部	1,339	事業	2022

第9次試験研究推進構想 (令和3年度～令和12年度)			令和4年度農業関係試験研究計画個別課題名 研究領域	関係部	令和4年 予算額 (千円)	予算 区分	研究期間 (年度)
主要目標	重点テーマ	研究領域					
II 革新技術の活用による戦略的な農業生産のための研究(前項からの続)	6 アグリテックの推進に向けた農業生産技術の確立(前項からの続)	2)省力・低コスト・軽労化技術の開発	(1) 水稲乾田直播栽培における播種の早期栽培(初冬直播)技術開発と実証	作物栽培部	2,500	受託	2021～2023
			(2) 大規模水田輪作高位安定生産技術の開発と実証	作物栽培部	1,385	受託	2021～2025
	7 農畜産物の高品質・高収益生産技術の確立	1)水稲・麦類・大豆の高品質・高単収生産技術の開発	(1) 需要対応型新みやぎ米の安定生産技術の確立	作物栽培部	2,037	事業 県単 県単	2021～2023 2020～2022 2022～2026
			(2) 新たな施肥法による水稲穂揃期葉色の改善	作物環境部	1,231		
			(3) 気候変動に対応した「高品質宮城米」安定生産を図るための栽培方法の確立	作物栽培部	1,115		
	8 大規模園芸産地を実現する栽培管理技術の確立	1)大規模露地園芸における栽培管理技術の開発	(1) 水田を活用した大規模露地園芸推進事業	水田営農部	205	事業	2022～2024
9 遺伝子情報やバイオテクノロジーの実用技術の確立	1)遺伝子情報とバイオテクノロジーの実用技術の開発	(1) 水稲薬培養による画期的新品種の開発	作物育種部	397	県単	1998～	
10 生産基盤の管理技術と農地の高度利用技術の確立	1)生産基盤の管理技術の開発	(1) 水田における高収益作物を導入するための排水改良技術の検討	水田営農部	1,503	事業	2021～2023	
III 持続可能な農業生産環境の構築に向けた研究	11 農業生産環境の維持・向上のための技術の確立	1)環境に配慮した農畜産物の生産管理に向けた技術の開発	(1) メタン発酵消化液の作物栽培への利用	作物環境部	4,000	県単	2016～2022

第9次試験研究推進構想 (令和3年度～令和12年度)			令和4年度農業関係試験研究計画個別課題名	関係部	令和4年 予算額 (千円)	予算 区分	研究期間 (年度)
主要目標	重点テーマ	研究領域					
Ⅲ 持続可能な農業生産環境の構築に向けた研究(前項からの続)	11 農業生産環境の維持・向上のための技術の確立(前項からの続)	2) 総合的病害虫・雑草管理技術の開発	(1) 土地利用型農業経営における病害虫リスク管理と防除技術の確立	作物環境部	1,838	県単	2019～2023
			(2) イネばか苗病の発生抑制技術体系の構築	作物環境部	350	事業	2017～2022
			(3) 蒸気消毒によるイネばか苗病の発生抑制効果確認	作物環境部	259	受託	2022
			(4) 水稻育苗培土への堆肥利用による苗立ち枯れ性病害低減に関する研究	作物環境部	3,105	県単	2020～2024
			(5) 発生要因の解析と予察モデルの検証2(アカスジカスミカメ)	作物環境部	1,000	受託	2022～2026
			(6) 直播栽培拡大のための雑草イネ等難防除雑草の省力的防除技術の開発	作物栽培部	800	受託	2019～2023
			(7) 農耕地における外来植物管理手法の確立	作物栽培部	410	受託	2019～2023
	12 気象変動や異常気象に適応した生産管理技術の確立	1) 気候変動や異常気象に適応した生産管理技術の開発	(1) 田んぼダム実証地区における効果の検証	水田営農部	2,329	事業	2021～2023
			(2) 温暖化に対応した高温に強いイネづくり開発普及推進事業	作物育種部	4,156	県単	2021～2025
			(3) 地球温暖化に対応した作物病害虫管理技術の構築	作物環境部	3,876	県単	2021～2025
	2) 温室効果ガスの排出を抑制する生産管理技術の開発	(1) 農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	作物環境部	1,820	受託	2021～2030	
		(2) 堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造及び利用方法の検討	作物環境部	396	産廃税	2022～2024	
その他		1) 調査事業	(1) 農作物有害動植物発生予察事業	作物環境部	1,287	事業	2021
			(2) 稲作地帯別好適生育型策定と安定多収の機策解明の技術確立	作物環境部	122	事業	1987～
			(3) 生育調査ほ	作物栽培部	1,537	事業	1965～
			(4) 主要農作物高位安定生産要因解析(作況試験)	作物栽培部			
			(5) 農用地土壌汚染防止対策推進事業	作物環境部	825	事業	1996～
			(6) 肥・飼料検査	作物環境部	901	事業	2001～
			(7) 事務所等調査依頼	水田営農部	1,499	事業	2019～
			(8) 民間育成品種の評価に関する委託試験	作物育種部	20	受託	2021～

注1) ゴシック体太字は、2022年度新規課題を示す。

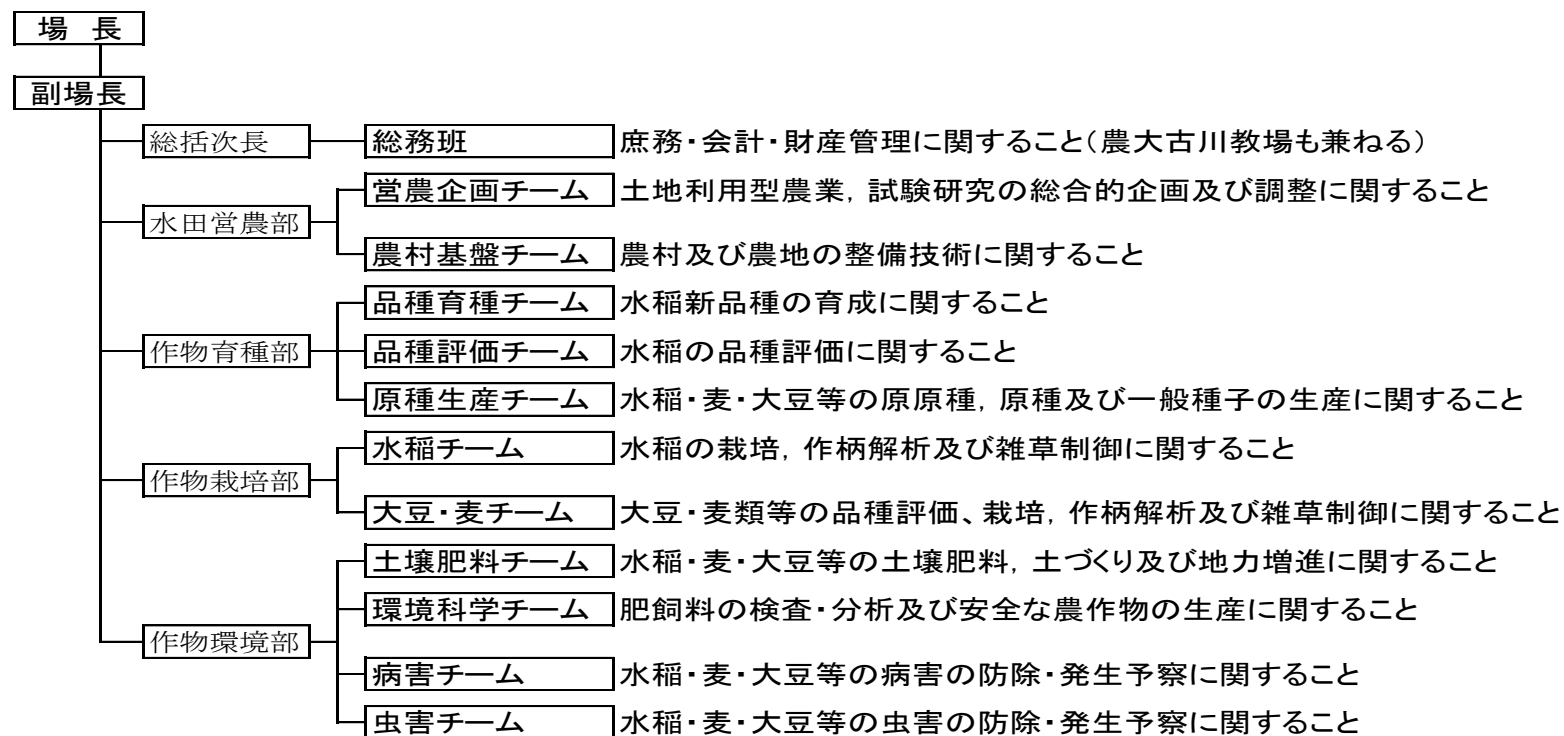
注2) の課題は、重点課題を示す。

注3) 「県単」：県単独研究、「受託」：受託研究、「事業」：事業研究

3 研究開発・支援体制について

(1) 組織機構と職員数

機 構	職員数（再任用を含む）			
	行政職	研究職	技能職	計
場長		1		1
副場長		1		1
総括次長	1			1
総務班	3			3
水田営農部		7	6	13
作物育種部		8	6	14
作物栽培部		7		7
作物環境部		10		10
合計	4	34	12	50



2) 職員の分担等

(令和5年4月1日現在)

所 属	職 名	氏 名	研究歴 (年)	主な研究分野・担当業務	
場 長		齋 藤 康 彦	2	場総括	
副 場 長		吉 田 修 一	21	場副総括	
副参事兼総括次長		伊 勢 博 之	—	場内調整	
総務班	主 幹 (班 長)	佐 藤 勝 彦	—	班総括	
	主 任 主 査	白 倉 彰 子	—	給与、旅費の支出管理	
	主 事	木川田 優 人	—	予算及び決算	
水田営農部	部 長	酒 井 博 幸	15	部内総括、場の研究予算	
営農企画チーム 1 土地利用型農業に関すること 2 試験研究に関する総合的企画及び調整に関すること	主 任 研 究 員	門 間 由美子	7	チーム総括、企画・運営	
	研 究 員	岡 本 栄 治	11	スマート農業	
	研 究 員	横 山 裕 美	3	輪作体系技術	
	技 師	長 谷 青 空	1	作業組立技術	
	農村基盤チーム 1 業基盤整備の低コスト化、輪換水田の排水改良、地下かんがいに関すること	上 席 主 任 研 究 員	佐 藤 一 浩	3	チーム総括
		技 師	西 大 基	2	農業基盤整備技術
	業務職員	技師(農場業務主任)	千 葉 寿 文	—	農場業務
		技師(農場業務主任)	高 橋 光	—	農場業務
		技師(農場業務主任)	平 地 邦 徳	—	農場業務
		技 師 (農 場 業 務)	針 生 義 一	—	農場業務
		技 師 (農 場 業 務)	高 野 勇 希	—	農場業務
		技 師 (農 場 業 務)	後 藤 智津子	—	試験検査補助業務
作物育種部	部 長	佐々木 都 彦	12	部内総括	
	品種育成チーム 1 水稻新品種の育成に関すること	上 席 主 任 研 究 員	千 葉 文 弥	14	チーム総括、水稻品種の育成
		副 主 任 研 究 員	木 皿 正 人	4	水稻品種の育成、高温耐性検定、耐冷性検定
		技 師	菅 原 冬 葵	3	水稻品種の育成、雑種集団選抜
	品種評価チーム 1 水稻系統・品種の選抜及び評価に関すること	主 任 研 究 員	我 妻 因 信	9	チーム総括、水稻優良品種に関すること
		技 師	千 葉 遼太郎	1	水稻優良品種に関すること、葉いもち検定

所 属		職 名	氏 名	研究歴（年）	主な研究分野・担当業務
作物育種部	原種生産チーム（岩沼市駐在） 1 水稻、麦、大豆等の原原種、原種及び一般種子の生産に関する事 2 水稻栽培における雑草制御技術の確立に関する事	主任 研 究 員	西 條 和 彦	2	チーム総括、原原種系統の維持
		研 究 員	島 津 裕 雄	17	原原種及び原種生産
	業務職員	技師（試験検査補助）	佐々木 宏 明	—	農場業務
		技師（農場業務主任）	佐 藤 和 年	—	農場業務
		技師（農場業務主任）	山 田 忠 幸	—	農場業務
		技師（農場業務主任）	吉 田 幸 司	—	農場業務
		技 師（ 農 場 業 務 ）	橘 内 達 也	—	農場業務
技師（試験検査補助）	村 上 和 佳	—	試験検査補助業務		
作物栽培部	水稻チーム 1 水稻の栽培、生育診断、作柄解析、品質改善等に関する事 2 水稻栽培における雑草制御技術の確立に関する事	部 長	滝 澤 浩 幸	24	部内総括、農業革新支援専門員、農場管理担当
		上 席 主 任 研 究 員	菅 野 博 英	20	チーム総括、ほ場業務管理
		主 任 研 究 員	遠 藤 彦	6	水稻栽培技術、雑草制御（水稻）
	大豆・麦チーム 1 大豆・麦類等の栽培、生育診断、作柄解析、優良品種、品質改善に関する事 2 大豆・麦類等の栽培における雑草制御技術の確立に関する事	技 師	細 谷 和 宏	1	水稻栽培技術、水稻作況、雑草制御（水稻）
		主 任 研 究 員	金 原 昭 三	13	チーム総括
		主 任 研 究 員	今 野 智 寛	10	麦類大豆栽培技術・優決、雑草制御（畑作）
		技 師	佐々木 崇	1	麦類大豆栽培技術・作況、雑草制御（畑作）
作物環境部	土壌肥料チーム 1 土地利用型作物の土壌肥料に関する事 2 土づくりに関する事	部 長	浅 野 真 澄	20	部内総括
		上 席 主 任 研 究 員	小野寺 博 稔	11	チーム総括、農業革新支援専門員
	環境化学チーム 1 土壌汚染防止対策、安全な農産物の生産に関する事 2 肥飼料検査分析に関する事 3 地力増進に関する事	主 任 研 究 員	高 橋 信 行	8	土づくり技術・作物栄養
		上 席 主 任 研 究 員	瀧 典 明	18	チーム総括、地力増進技術
		技 師	島 秀 之	27	土壌汚染防止対策
	虫害チーム 1 水稻、麦類、大豆等の害虫の防除に関する事 2 水稻、麦類、大豆等の害虫の発生予察に関する事	技 師	小田中 大 輔	4	肥飼料分析
		上 席 主 任 研 究 員	小 野 亨	19	チーム総括
		技 師	楠 原 弘 己	1	普通作物害虫の発生生態と防除技術
	病害チーム 1 水稻、麦類、大豆等の病害の防除に関する事 2 水稻、麦類、大豆等の病害の発生予察に関する事	主 任 研 究 員	狐 塚 慶 子	2	チーム総括
		技 師	小 黒 ま ゆ	1	普通作物病害の発生生態と防除技術

(3) 研究予算等の状況

1) 年次別当初予算 (千円)

	総額	人件費	管理費	試験研究費
(参考) 令和5年	182,823	56,546	60,411	65,866
令和4年	169,913	30,334	52,880	86,699
令和3年	158,549	28,671	54,392	75,486
令和2年	158,484	21,759	48,270	88,455

2) 試験研究費のうちの予算区分別予算額 (千円)

	試験研究事業費(千円)					課題数				
	合計	国庫・交付金	県単	事業研究	受託	国庫・交付金	県単	事業研究	受託	合計
(参考) 令和5年	65,899	8,091	21,449	17,695	18,631	9	12	17	8	46
令和4年	86,699	5,843	40,243	17,899	22,714	11	14	15	10	50
令和3年	75,486	2,069	40,877	16,101	16,439	15	13	13	9	50
令和2年	88,455	1,035	28,588	33,871	24,961	9	14	21	13	57

3) 生産物収入

	生産物売却高							
	円	米		大豆		水稻種子		円
		kg	円	kg	円	kg	円	
令和4年	9,011,700	48,480	8,661,600	3,600	306,000	180	44,100	
令和3年	8,912,060	62,196	8,276,130	5,815	382,020	645	182,910	71,000
令和2年	11,094,685	54,411	10,367,623	7,234	592,200	546	135,862	

4 研究者の確保・育成

(1) 研究職員の研修状況

イ 依頼研究員研修

<令和2年度>

「排水解析手法の習得」、技師 大野菜穂子、新潟大学農学部、令和2年11月16日～20日、令和2年12月14日～18日

<令和3年度>

該当者なし

<令和2～4年度>

「クモヘリカメムシの分布域の実態把握、防除体系の確立」、技師 川端 瑞穂、東北農業研究センター、令和4年10月24日～12月23日

ロ 各種職員技術研修

<令和2年度>

○マイルストーンゼネラル社ウェビナー「マイクロ試料前処理における酸分解の失敗例と改善策」 総括研究員 島秀之

令和2年8月20日 オンライン講習会

○農政部基礎研修 技師 齋藤 健多 令和2年9月16日

○先進農家等実務研修 技師 川端 泉穂 令和2年9月8日～11日、9月24日～25日、9月29日～10月2日 大崎市古川

○環境放射能分析研修 ゲルマニウム半導体検出器による測定法 技師 今野智寛

令和2年12月1日～3日 公益財団法人日本分析センター（千葉県千葉市）

○第226回農林交流センターワークショップ「土壌を介した食の窒素循環の解析手法と予測手法」 技師 今野智寛

令和3年3月4～5日 オンライン講習会

<令和3年度>

○普及活動基礎研修 技師 菅原 冬葵 令和3年4月16日

○先進農家等実務研修 技師 齋藤 健多 令和3年4月18日～20日、5月10日～11日、6月3日～4日、6月29日～30日、
9月21日～22日、9月29日～30日 大崎市古川

○安全管理者選任時研修 副場長 堀内 保昭 令和3年6月24日～25日 仙台市

○農林水産関係研究リーダー研修 場長 渡邊 雅弘、水田営農部長 吉田 修一、作物育種部長 佐々木都彦、作物栽培部長 狩野 篤、
作物環境部長 浅野真澄 令和3年7月13日～14日 オンライン

- 衛生管理者受験講習会 総括次長 伊勢 博之 令和3年7月14日～16日 仙台市
- 農政部基礎研修 技師 菅原 冬葵 令和3年7月20日 仙台合庁
- 甲種防火管理者講習 総括次長 伊勢 博之 令和3年8月24日～25日 大崎市
- 農林水産関係若手研究者研修 技師 大野菜穂子、技師 石森裕貴、技師 川端 泉穂 令和3年10月26日 オンライン
- 令和3年度新技術農業機械化推進研修
 - ・安全指導オンラインコース 上席主任研究員 加進丈二 令和3年10月27日
 - ・精密農業・自動化ハイテクコースⅠ 研究員 横山裕美、技師 山内歩実、技師 菅原冬葵、技師（農場業務） 平地邦徳
令和3年12月17日
 - ・精密農業・自動化ハイテクコースⅡ 研究員 横山裕美、技師 菅原冬葵、技師（農場業務主任） 佐々木宏明、技師（農場業務） 吉田幸司
令和4年3月8日
- 農林水産関係中堅研究者研修 研究員 木皿 正人 令和4年1月18日～19日 オンライン

<令和4年度>

- 普及活動基礎研修 技師 佐々木 崇 令和4年4月25日、7月13日
- 先進農家等実務研修 技師 菅原 冬葵 令和4年5月9日～11日、7月4日～5日、8月8日～9日、9月12日、9月28日～29日
東松島市
- 農林水産関係研究リーダー研修 作物栽培部長 滝澤 浩幸 令和4年6月23日～24日、オンライン
- 農政部基礎研修 技師 佐々木 崇 技師 高野 勇希 主事 木川田優人 令和4年7月15日又は22日
- 農林水産関係若手研究者研修 技師 横島 千剛、技師 小田中 大輔 令和4年10月18日、オンライン

(2) 表彰等

イ 場長表彰

<令和2年度>

- 作物栽培部 水稻新品種「だて正夢」「金のいぶき」の栽培技術確立チーム：
高橋浩明、酒井博幸、菅野博英、森谷和幸、宮野法近、島津裕雄、大川茂範、阿部倫則、高橋信行、國嶋広達、今野智寛、眞壁由衣、
櫻田史彦、岸田なつみ、猪野亮、阿部定浩、北川誉紘、小山かがみ
「水稻新品種「だて正夢」「金のいぶき」の栽培法の確立・普及
- 作物環境部 土壌管理情報発信チーム
高橋信行、横島千剛
「ホームページを活用したリアルタイム水田土壌管理情報の発信」

○作物育種部 酒造好適米”吟のいろは”育成チーム

遠藤貴司、佐々木都彦（農業大専校）、千葉文弥（栗原地域事務所）、我妻謙介（気仙沼地方振興事務所）、早坂浩志（栗原地域事務所）、佐伯研一（観光課）、佐藤浩子（北部地方振興事務所）、酒井球絵（農業振興課）、中込佑介（農業・園芸総合研究所）、石森裕貴、町直樹（東京事務所）

「大粒で心白発現率が高い酒造好適米品種「吟のいろは」の育成」

○水田営農部 新たな営農排水技術高度化検証チーム

小泉慶雄、大野菜穂子、道合千英

「生産者レベルで対応可能な、地域で取り組める田んぼダムの開発」

<令和3年度>

○水田営農部 先端技術研究成果社会実装促進チーム

酒井博幸、櫻田史彦（気仙沼地振）、今野智寛、加進丈二、眞壁由衣（気仙沼地振）、宮野法近
小野 亨、高木拓未、川端泉穂、齋藤健多

「大規模水稲作を実現するための移植栽培の省力・軽労化技術の開発・普及」

○水田営農部 新山裕子

「研究成果情報の公開を劇的に推進する基礎的整理」

○作物育種部 山田忠幸

「作成枠で田植え効率化の実現」

○作物栽培部 麦類栽培チーム

國嶋広達、金原昭三、滝澤浩幸

「麦類の加工適性を重視した品種選定と栽培法の確立」

○作物環境部 カドミウム吸収抑制チーム

島 秀之、横島千剛、今野智寛、石川亜矢子（北部地振）、金澤由紀恵（大河原地振）

「水稲のカドミウム吸収を抑制する新たな石灰質資材の開発と効果の実証」

<令和4年度>

○作物栽培部 雑草イネ防除対策チーム

大川茂範（仙台地振）、遠藤 彦、菅野博英、小田中大輔

「みやぎ米品質確保のための雑草イネ防除対策技術の開発」

○作物環境部 水稲用ペレット堆肥作製チーム

小野寺博稔、高橋信行、森谷和幸（大河原地振）、小山かがみ（園芸推進課）

「牛ふん堆肥を主体とするペレット肥料の水稲施用技術の確立」

○作物環境部 クモヘリカメムシ対策チーム

川端泉穂、小野 亨、齋藤健多

「クモヘリカメムシの分布領域拡大把握と防除対策」

○作物環境部 「だて正夢」肥培管理チーム

今野智寛、阿部倫則（農業振興課）、大川茂範（仙台地振）

「「だて正夢」における窒素吸収量及び籾数推定法の確立と主要品種適正籾数の自動計算シート作成」

○総務班 吉田利香

「総務事務センターへの庶務事務の集約に向けたきめ細やかな支援」

○水田営農部 古川農業試験場環境美化チーム

高橋 光、後藤智津子、千葉寿文、平地邦徳、針生義一、高野勇希

「農試生垣「どうだんつつじ」の剪定による地域貢献」

ロ 県農林水産・農政部部長表彰

<令和2年度>

○作物育種部 酒造好適米”吟のいろは”育成チーム

遠藤貴司、佐々木都彦（農業大学校）、千葉文弥（栗原地域事務所）、我妻謙介（気仙沼地方振興事務所）、早坂浩志（栗原地域事務所）、佐伯研一（観光課）、佐藤浩子（北部地方振興事務所）、酒井球絵（農業振興課）、中込佑介（農業・園芸総合研究所）、石森裕貴、町直樹（東京事務所）

「大粒で心白発現率が高い酒造好適米品種「吟のいろは」の育成」

○可給態窒素簡易分析法の開発・実証チーム

阿部倫則、岸田なつみ、石川亜矢子（大崎農業改良普及センター）

「デジタル画像分析を用いた水田土壌可給態窒素の簡易迅速評価法の開発」

<令和3年度>

該当なし

<令和4年度>

○田んぼダム普及・拡大チーム（水田営農部 佐藤一浩ほか）

「「田んぼダム」の普及・拡大活動」

ハ 学会等表彰

<令和2年度>

○令和2年度研究功労者表彰 令和2年6月18日 全国農業関係試験場所長会

水田営農部 部長 吉田修一

宮城県における効果的な水田雑草防除への功績

- 第13回北日本病害虫研究会研究報文部門虫害分野賞、令和3年2月18日、北日本病害虫研究会
作物環境部 技師 横堀亜弥、技師 相花絵里（農政総務課）、上席主任研究員 加進 丈二（水田営農部）、上席主任研究員 小野 亨、
技師 大江 高穂（農業・園芸総合研究所）
フタオビコヤガの発生経過とアシカキ群落における越冬

<令和3年度>

- 令和3年度藤原彰夫研究奨励賞、東北土壤肥料協議会、令和3年7月8日
作物環境部 技師 今野智寛
「水田転換畑土壌の物理性および化学性に由来するダイズの低収要因の解明」
- 2022年度日本作物学会論文賞、日本作物学会、令和4年3月27日
作物環境部 技師 今野智寛、
高橋智紀、中野恵子、新良力也、大橋優二、工藤忠之、谷川法聖、森谷真紀子、南雲芳文、青木政晴、上原敬義、岡本潔、向井吉崇、中村憲治、
大島正稔、加藤知美、森崎耕平、久野智香子、田畑茂樹、川原田直也、水谷嘉之、藤井清孝、蓮川博之、新谷浩樹、大塩哲視、山崎大貴、伊藤淳
次、道上伸宏、三原美雪、藤本順子、仲谷敦志、樋口俊輔、竹下美保子、持永亮
「FAO56モデルを用いた土壌の乾湿指標によるダイズ乾湿害の実態解析」
- 第14回北日本病害虫研究会賞 防除技術開発・技術普及部門、北日本病害虫研究会、令和4年2月17日
加進丈二・鈴木智貴・大江高穂・櫻田史彦・相花絵里・佐藤直紀・大槻恵太・宮野法近・横堀亜弥・小野 亨・辻 英明（宮城県古川農業試験場
病害虫研究チーム）
「津波被災地域における水稲病害虫の発生リスク評価と防除技術に関する研究」

<令和4年度>

- 令和4年度（東北農業研究75号）論文賞
- ・水田作部会
横島千剛、島秀之、今野智寛、鷲尾英樹、宮本武彰、石川亜矢子、金澤由紀恵
宮城県内農地土壌における放射性セシウム濃度とカリウム濃度について
 - ・畑作部会
金原昭三
糯性大麦「ホワイトファイバー」の幼穂長による生育ステージ予測

ニ その他表彰等

該当なし

5 研究設備・施設・備品等、研究環境の整備について

(1) 土地・施設・研究備品等の概要

イ 土地面積 500,000 m²

項 目	細 目	面 積 (m ²)
施設用地	本館施設用地	25,283
	外部施設用地	50,556
	小 計	75,839
	農業大学校施設用地	10,586
	合 計	86,425
試験・学習圃場用地	試験圃場 水田	170,169
	畑	17,834
	農業大学校学習圃場 水田	48,124
	合 計	236,127
その他の用地	用水貯水池, 公園, 駐車場他	177,448

ロ 主要建物・施設（延床面積）

名称	棟数	面積 (㎡)	名称	棟数	面積 (㎡)
本館(管理・研究実験棟)	1	6,047.22	第1網室(育種用)	1	420.00
休憩所	1	514.30	第2網室(栽培用)	1	307.44
人工気象制御室	5	6.66	資材格納庫	1	518.40
世代促進温室	1	583.98	農薬保管庫	1	129.60
交配母本育成ガラス温室	1		肥料保管庫	1	
交配室	1		機械格納庫	2	574.91
世代促進制御室	1		小農機具格納庫	1	258.50
接種温室	1		脱穀・作業舎(育種用)	1	375.00
第1調査室(育種用)	1	128.82	脱穀舎(栽培用)	1	522.00
第3調査室(栽培用)	1	431.13	ライスセンター	1	186.30
作物乾燥調整室	1	86.25	杭置き場	2	192.00
育苗舎	1	297.50	堆肥舎	1	390.00
育苗ハウス	6	777.60	気象観測舎	1	59.29
低温種子貯蔵庫	1	51.86	有機溶媒保存庫・ポンプ庫	1	123.40
種子貯蔵庫	1	166.98	ポンプ小屋	1	
玄米等試料保存庫	1		公用車庫	3	400.61
稲試料保管庫	1		レストハウス	1	251.04
			揚水機場	1	72.48

ハ 機械・器具

(令和5年3月31日現在)

名称	構造又は規格	用途	取得年月日	前年度末現在高(台)	決算年度末現在高(台)	摘要
				台帳価格(円)	台帳価格(円)	
一般機械器具類	クマヒラKH-B-713D 5M・D5F. 5連16列	書類保管用	H11.2.12	1 3,045,000	1 3,045,000	移動式書架
	ジョンソンコントロールズ MU55-A1200	施設管理用	H22.1.25	1 3,570,000	1 3,570,000	中央監視装置
	HP Workstation Z6 G4 (タワー型)	試験研究用	R3.3.19	1 2,276,120	1 2,276,120	リモートセンシング画像解析処理PC R3.3.31農業振興課から管理換え
動力荷役機械器具類	米袋吸着アーム AG040-D	水稻収穫用	H25.9.18	1 3,990,000	1 3,990,000	米袋吸着アーム
農林漁業用機械器具類	クボタ ARN327ADXW-S50C	水稻収穫用	H20.9.18	1 2,814,000	1 2,814,000	コンバイン
	クボタ製 KL44ZHCQMANWF9C	耕起作業用	H24.3.15	1 5,449,500	1 5,449,500	トラクタ
	クボタ製 ER329SD4MW	種子仕様 三条刈	H25.10.10	1 4,861,500	1 4,861,500	自脱型コンバイン
	クボタ製 型式 KG-A102S	大豆色彩選別機	H26.2.4	1 2,856,000	1 2,856,000	大豆色彩選別機
	田植機 17ps以上	ロータリー式強制植付 施肥装置付, 箱背用	H26.8.29	1 2,177,463	1 2,177,463	6条側条施肥機付田植機
	(株)丸山製作所製 BSA-500	動力噴霧機 走行式	H27.6.29	1 2,311,200	1 2,311,200	乗用管理機
	クボタ ER470SD4MSQPFW-C	水稻収穫用	H28.7.29	1 8,478,000	1 8,478,000	自脱型コンバイン
	クボタ製 ER329HDMW-S50C	わら結束装置 種子用交換部品	H28.8.29	1 4,482,000	1 4,482,000	3条自脱型コンバイン
	サタケ SDR45AM2	水稻収穫用	H28.8.25	1 3,078,000	1 3,078,000	穀類乾燥機
	サタケ SDR40AM2	水稻収穫用	H28.8.25	1 2,916,000	1 2,916,000	穀類乾燥機
	大屋丹蔵製作所 OMSIIIW	水稻収穫用	H28.8.25	1 8,208,000	1 8,208,000	総合調製選別機
	東洋ライス MA90R2	試験研究用	H28.10.12	1 12,376,800	1 12,376,800	マルチ味度メーター
	クボタ製 SL38HCQMANPC2	耕起作業用	H28.11.29	1 8,370,000	1 8,370,000	ハーフクローラトラクター
	クボタ製ラケルアルファ ZP65-N-T5F-R	水稻用	H29.1.27	1 2,332,800	1 2,332,800	6条側条施肥機付田植機

名 称	構造又は規格	用 途	取得年月日	前年度末現在高(台)	決算年度末現在高(台)	摘 要
				台帳価格(円)	台帳価格(円)	
	ヤンマー YR6D	播種用	H29. 3. 7	1 2, 214, 000	1 2, 214, 000	6条播種機
農林漁業用機械器具類	コイト電工 TH-16DCA	試験研究用	H29. 9. 28	1 8, 294, 400	1 8, 294, 400	高湿度恒温グローブキャビネット
	フォス・ジャパン ファイバーテック8000システム	試験研究用	H30. 2. 21	1 4, 082, 400	1 4, 082, 400	粗繊維抽出装置
	三菱電気 MELSEC-Q	試験研究用	H30. 2. 27	1 5, 616, 000	1 5, 616, 000	耐冷性検定圃場シーケンサー
	橋本製作所 545THC-1S	試験研究用	H30. 2. 22	1 5, 616, 000	1 5, 616, 000	薬培養庫
	橋本製作所 185-GL-3S	試験研究用	H30. 2. 22	1 6, 156, 000	1 6, 156, 000	恒温接種装置
	クボタ FT240QBMAJQF6SC	耕起作業用	H30. 3. 7	1 2, 181, 600	1 2, 181, 600	トラクター 代掻きハロー含む
	クボタ ER448NDD4MW2E-C	水稲収穫用	H30. 7. 31	1 6, 177, 600	1 6, 177, 600	コンバイン
	クボタ SL54HCMAEWTP	耕起作業用	H30. 8. 3	1 4, 471, 200	1 4, 471, 200	トラクタ 大崎市 X0266
	日立建機 ZW30-5B	農作業用	H30. 8. 10	1 3, 002, 400	1 3, 002, 400	農特産用ホイールローダ 大崎市 Y0055
	クボタ 北ウェル NW6S-F-GS	水稲田植用	H31. 3. 18	1 3, 477, 600	1 3, 477, 600	乗用田植機
	クボタ製 REXIA MR1000QMA XWUPC3	耕起作業用	R1. 11. 15	1 9, 694, 300	1 9, 694, 300	均平トラクタ
	スガノ農機製 L41S2B	耕起作業用	R1. 11. 15	1 4, 489, 100	1 4, 489, 100	レーザーレベラー
	ヤンマー建機製 Vio-30-6	農作業用	R2. 1. 15	1 4, 455, 000	1 4, 455, 000	ミニショベル
	東洋製作所製 TBN900DA19B	試験研究用	R2. 2. 10	1 3, 080, 000	1 3, 080, 000	恒温水槽
	クボタ製 ｲﾗｲﾄ材 ER330N SD4MWE-C	水稲収穫用	R2. 3. 18	1 4, 708, 000	1 4, 708, 000	種子用コンバイン
	クボタ GR16-75	水稲管理作業用	H15. 8. 29	1 2, 383, 500	1 2, 383, 500	乗用管理作業機
	原島電機製 MH-502 外	試験研究用	H3. 7. 26	1 12, 998, 600	1 12, 998, 600	種子選別プラント
	PRS140/B	水稲管理作業用	H8. 3. 12	1 2, 090, 900	0	田面管理作業機 R4. 4. 8廃棄
	MPR-M2-6 MPR-B6	水稲管理作業用	H8. 12. 13	1 2, 099, 140	0	田面管理作業機 R4. 4. 8廃棄

名 称	構造又は規格	用 途	取得年月日	前年度末現在高(台)	決算年度末現在高(台)	摘 要
				台帳価格(円)	台帳価格(円)	
	クボタ SR18-JGHDW-SK50	水稻収穫用	H11. 3. 30	1 2,835,000	1 2,835,000	自脱型コンバイン
	イセキ HA440GSAPHWCK 結束機付	水稻収穫用	H11. 3. 31	1 5,880,000	1 5,880,000	自脱型コンバイン
	クボタ GL-29FBMAXSP	耕起作業用	H3. 4. 23	1 3,914,000	1 3,914,000	トラクタ R3. 6. 17農園研から管理換え
	富士平工業K. K CEC-10 Ver2	試験研究用	H21. 10. 27	1 2,467,500	1 2,467,500	汎用抽出・ろ過装置
農林漁業用機械器具類	安井器械 MB701他	試験研究用	H20. 3. 18	1 2,572,500	1 2,572,500	マルチビーズショッカー
	スター農機 TCR2200WT	水稻収穫用	H15. 10. 20	1 2,677,500	0 0	カッティングロールベアラ R4. 11. 25管理換え宮城県農業高等学校へ
	サタケ RH-2A ほか	水稻収穫用	H11. 3. 2	1 14,994,000	1 14,994,000	穀類乾燥調製機器一式
	三菱 MM25T	農作業用	H11. 3. 25	1 2,394,000	1 2,394,000	バックホー
	日立 LX20-3	農作業用	H11. 3. 25	1 2,320,500	1 2,320,500	ホイールローダ
	クボタ SR50GSSDRMTW-S50C	作業実習用	H11. 3. 29	1 6,513,150	1 6,513,150	自脱型コンバイン
	クボタ AEROSTAR RACLEAD ER220GMW2-SC	水稻収穫用	R2. 9. 29	1 2,730,200	1 2,730,200	自脱型コンバイン R2. 11. 4農業振興課から管理換え
	クボタ SL450HCQPC2WF0C	耕起作業用	R2. 9. 29	1 6,285,400	1 6,285,400	乗用トラクター (ロータリ付属) R2. 11. 4農業振興課から管理換え
	クボタ SL350HCQWF8C	耕起作業用	R2. 9. 29	1 4,739,900	1 4,739,900	乗用トラクター (ロータリ付属) R2. 11. 4農業振興課から管理換え
	丸山製作所 BSA-651CEほか	管理作業用	R2. 12. 16	1 5,873,450	1 5,873,450	乗用管理機 (GPSガイダンス含む) R3. 1. 7農業振興課から管理換え
	IHIアグリテック TCR2240AT	管理作業用	R2. 12. 16	1 3,207,600	1 3,207,600	ロールベアラ R3. 1. 7農業振興課から管理換え
	洲本整備機製作所 HW-1310Eほか	農作業用	R2. 12. 16	1 2,105,950	1 2,105,950	高圧洗浄機 (アタッチメント含む) R3. 1. 7農業振興課から管理換え
	クボタ ERH450E-G	大豆収穫用	R2. 9. 28	1 5,346,000	1 5,346,000	大豆汎用コンバイン R3. 3. 19みやぎ米推進課から管理換え
	イセキ NTA365GQCY	耕起作業用	R4. 11. 24	0 0	1 3,812,732	ロータリ付きホイールトラクター R4. 12. 23農業振興課から管理換え
	ニコン・トリンプル GF X-750他	農作業用	R4. 12. 26	0 0	1 2,333,100	自動操舵システム (MR1000用) R5. 2. 15農業振興課から管理換え
	ニコン・トリンプル GF X-750他	農作業用	R4. 12. 26	0 0	1 2,333,100	自動操舵システム (SL450用) R5. 2. 15農業振興課から管理換え

名 称	構造又は規格	用 途	取得年月日	前年度末現在高(台)	決算年度末現在高(台)	摘 要
				台帳価格(円)	台帳価格(円)	
	テクスチャーアナライザー TAXTPL	試験研究用	H24. 3. 15	1 3,412,500	1 3,412,500	テクスチャーアナライザー
	島津製作所 UV-1850	化学分析用	H29. 11. 24	1 2,316,276	1 2,316,276	分光光度計
	サーモフィッシャーサイエンティフィック iCE3500Z	化学分析用	H29. 12. 15	1 12,312,000	1 12,312,000	原子吸光分析装置
測量測定器具類	Geonics Limited EM38-MK2	試験研究用	H31. 2. 18	1 3,367,440	1 3,367,440	土壌電気伝導度測定器（電磁探査機本体）
	LAI-2000, LI-3050-P	試験研究用	H3. 6. 26	1 4,593,800	1 4,593,800	葉面積測定装置
	GC-14APFGC-14AP	試験研究用	H4. 3. 1	1 5,067,600	1 5,067,600	土壌生成温室効果等ガス測定装置
	富士平工業K. K ルートスキャナ	試験研究用	H3. 8. 10	1 2,132,100	1 2,132,100	根長自動測定装置
試験分析器具類	日本エアーテック FG-1915L	試験研究用	H30. 10. 30	1 2,430,000	1 2,430,000	ファン上置型クリーンベンチ
	大起理化工業 RK4 II DIK-2610	化学分析用	H30. 11. 13	1 3,996,000	1 3,996,000	無粉塵型自動粉碎篩分け装置
	フォス・ジャパン ケルテック8400	化学分析用	H31. 1. 10	1 3,826,440	1 3,826,440	自動ケルダール蒸留滴定システム
試験分析器具類	マイルストーンセネラル ETHOS EASY	化学分析用	H31. 1. 18	1 2,635,200	1 2,635,200	マイクロ波試料前処理装置
	マイルストーンセネラル MAX144	化学分析用	H31. 1. 18	1 2,559,600	1 2,559,600	多検体同時処理ローター（マイクロ波試料前処理装置）
	サーモフィッシャーサイエンティフィック iCE3300-UNI	化学分析用	H31. 1. 31	1 2,824,200	1 2,824,200	シングルアトマイザー原子吸光分析装置
	メイワフォーシス製 LAI-2200C	科学分析用	R1. 10. 2	1 3,410,000	1 3,410,000	プラント・キャノピー・アナライザー
	サーモフィッシャーサイエンティフィック iCAPRQ	科学分析用	R1. 11. 27	1 23,921,700	1 23,921,700	I C P質量分析装置 R1. 12. 5農業振興課から管理換
	エレメンタルサイエンティフィック SC-2DX	科学分析用	R1. 11. 27	1 2,420,000	1 2,420,000	オートサンプラー
	セントラル科学製 SieVers InnovOx	科学分析用	R2. 2. 19	1 5,483,500	1 5,483,500	全有機炭素（TOC）計
	セントラル科学製 SPRD77007-01	科学分析用	R2. 2. 19	1 2,090,000	1 2,090,000	オートサンプラー
	FOSS インフラテックNOVA	化学分析用	H28. 10. 13	1 6,912,000	1 6,912,000	タンパク質含量分析装置
	スミグラフ NC-TRINITY	化学分析用	H28. 10. 14	1 9,698,400	1 9,698,400	CNコーダー

名 称	構造又は規格	用 途	取得年月日	前年度末現在高(台)	決算年度末現在高(台)	摘 要
				台帳価格(円)	台帳価格(円)	
	ピーエルテック オートアナライザー-3型	化学分析用	H28. 12. 9	1 7, 182, 000	1 7, 182, 000	アミロース自動分析装置
	ラビット・ビスコ・アナライザー RVA4500	試験研究用	H28. 12. 8	1 7, 830, 000	1 7, 830, 000	回転粘度計
	ゲルプリント 1000i-2/BOX	化学分析用	H13. 3. 21	1 2, 467, 500	1 2, 467, 500	デンストグラフ
	オリンパス BHS-RFC-N1	試験研究用	H3. 3. 8	1 2, 636, 800	1 2, 636, 800	測微計付き落射蛍光微分干渉顕微鏡
	VS/PT/100型	試験研究用	H3. 10. 31	1 6, 993, 700	1 6, 993, 700	でんぶん糊化・温度粘度測定装置
	ブラベンダー社クオールド マツジュニア279002	試験研究用	H3. 2. 25	1 3, 419, 600	1 3, 419, 600	試料粉碎機
	MB-90A/B	化学分析用	H3. 11. 6	1 10, 990, 100	1 10, 990, 100	米飯食味測定装置
試験分析器具類	G3810F	化学分析用	H4. 7. 3	1 3, 141, 500	1 3, 141, 500	ガスクロマトグラフ
	MODEL-RE33005	化学分析用	H8. 3. 27	1 3, 553, 500	1 3, 553, 500	クリープメーター
	PR-5型ミニ精米機	試験研究用	H8. 3. 27	1 3, 893, 400	1 3, 893, 400	高精米特性試験機
	185-GL-3S	試験研究用	H8. 3. 27	1 2, 935, 500	1 2, 935, 500	恒温接種装置
	RFG40型UF仕様システム	化学分析用	H8. 3. 19	1 2, 266, 000	1 2, 266, 000	超純水製造装置システム
	PCR本体 GeneAmp PCR System	化学分析用	H9. 7. 28	1 2, 982, 000	1 2, 982, 000	PCR及びDNA解析装置一式
	(有)クリマテック WEATHER ROBO	試験研究用	H11. 3. 17	1 2, 373, 000	1 2, 373, 000	水田等微気象観測装置
	ニレコ NIRS6500システム	試験研究用	H11. 3. 19	1 14, 553, 000	1 14, 553, 000	近赤外・米食味品質分析計
	MA-30Aシステム	試験研究用	H11. 3. 25	1 2, 887, 500	1 2, 887, 500	味度メーター
	島津理化器械(株) DP-25	試験研究用	H11. 3. 30	1 2, 104, 200	1 2, 104, 200	廃水処理装置
	ロシュ・ダイアグノスティック社 ライトサイクラー480システムII	化学分析用	H21. 11. 20	1 6, 552, 000	1 6, 552, 000	リアルタイムPCR装置一式
	ピーエルテック(株) SPARC-II一式	化学分析用	H21. 12. 4	1 4, 935, 000	1 4, 935, 000	多波長比色計
	サーモフィッシャーサイエンティフィック 社製 iCE3300一式	化学分析用	H21. 12. 18	1 2, 514, 750	1 2, 514, 750	原子吸光分析装置

名 称	構造又は規格	用 途	取得年月日	前年度末現在高(台)	決算年度末現在高(台)	摘 要
				台帳価格(円)	台帳価格(円)	
	タイテック株式会社 BR-3300W	試験研究用	R2.10.9	1 2,428,800	1 2,428,800	恒温振とう培養機 R2.10.22農業振興課から管理換え
	(株)日本医化器械製作所 LH-30LED-8CT	試験研究用	R2.8.28	1 2,992,000	1 2,992,000	バイオマルチインキュベータ R2.9.3農業振興課から管理換え
	サーモフィッシャーサイエンティフィック 社製 Dionex ICS-6000ほか	試験研究用	R2.12.8	1 13,981,000	1 13,981,000	イオンクロマトグラフ装置 R3.1.22農業振興課から管理換え
	東洋製作所 DRLF23WB	試験研究用	R3.2.3	1 2,145,000	1 2,145,000	大型送風定温乾燥器 R3.2.17農業振興課から管理換え
	ビーエルテック DEENA 60ポジション	試験研究用	R3.2.15	1 4,946,700	1 4,946,700	全自動酸分解前処理装置 R3.2.19農業振興課から管理換え
	メルク (株) Milli-Q IQ7003	試験研究用	R3.2.15	1 2,035,000	1 2,035,000	超純水製造装置 R3.2.19農業振興課から管理換え
	橋本製作所 545THC-3S	試験研究用	R3.2.19	1 4,345,000	1 4,345,000	いもち培養庫 購入
	(株)ダルトン 重金属排水処理装置 DPN-50	試験研究用	R3.3.2	1 3,784,000	1 3,784,000	室内型小型廃水処理装置 R3.3.10農業振興課から管理換え
	F OSS社 ソックステック8000 6ポジション抽出システム(230V仕様)	試験研究用	R3.2.25	1 4,158,000	1 4,158,000	自動溶媒抽出装置 R3.3.10農業振興課から管理換え
	Q I A G E N社製 Q I A x c e l A d v a n c e d	試験研究用	R3.11.12	1 4,290,000	1 4,290,000	DNA自動電気泳動装置 R3.11.26農業振興課から管理換え
	F OSS社 ハイドロテック8000	試験研究用	R4.11.10	0 0	1 2,864,180	酸分解脂肪測定装置 R4.11.15農業振興課から管理換え
	ロシュ・ダイアグノスティック社 Light Cycler96	試験研究用	R4.11.25	0 0	1 3,508,230	96ウェルリアルタイムPCR装置 R4.12.6農業振興課から管理換え
合 計				105 504,462,079	107 512,445,881	

- (注) 1 名称は、財務規則第138条別表第三に定める大分類によるものとするが、備品については、特定用途機械器具類のみを小分類とし、その他は中分類で記載すること。
- 2 取得年月日は、県が取得した日を記載すること。
- 3 台数に異動があった場合には、その異動年月日・理由を「摘要」欄に記載すること。(管理換等で所管した場合は「管理換 ○○年○○月○○日」と記載し、また、中古品を取得した場合は「製造年 ○○年」等と記載すること。)
- 4 委託業務に必要な財産を委託契約により貸し付けているもの等(除融機械等)がある場合には、「摘要」欄に、使用承認期間、使用目的、使用者を記載すること。

ニ 車 両

(令和5年3月31日現在)

名 称	構造又は規格	車台番号	登録番号	取得年月日	車検有効期間満了日	前年度末現在高(台)	決算年度末現在高(台)	摘 要
						台帳価格(円)	台帳価格(円)	
トヨタプリウスL	普通乗用自動車	ZVW30-1129208	宮城301な4191	H21.12.16	R6.12.13	1,872,943	1,872,943	
ニッサンノート	小型乗用自動車	HE12-404051	宮城503は4985	R2.3.9	R7.3.5	1,815,000	1,815,000	
マツダキャブオーバ	普通貨物自動車	WGL4T-123910	宮城11つ5203	H3.7.15	R5.7.12	2,121,800	2,121,800	車検更新 R6.7.12
マツダダンプ	小型貨物自動車	WEW0F1-1229930	宮45せ6633	S57.6.25	R5.6.26	1,660,000	1,660,000	車検更新 R6.6.26
日産ADバンDX	小型貨物自動車	VY12-066390	宮城400な3418	H22.2.10	R6.2.7	813,750	813,750	
ニッサンADバンVE	小型貨物自動車	VZNY12-051696	宮城400ぬ6292	H27.7.24	R5.7.22	1,169,640	1,169,640	車検更新 R6.7.22
マツダファミリア	小型貨物自動車	VY12-501422	宮城400と6277	H19.8.28	R5.8.26	840,000	840,000	車検更新 R6.8.26
ドーザ	特殊自動車	WA200-1 11079		S61.11.26		13,180,000	13,180,000	除雪車
ドーザ	特殊自動車	W00830277	宮城00る1912	H1.10.27		12,988,300	1	除雪車、車体登録抹 消残存価格変更
特殊自動車タイヤドーザー	特殊自動車	W00830277	宮城00る1915	H1.10.27		12,988,300	1	R3.11.15北部土木か ら管理換え除雪車、 車体登録抹消残存価 格変更
クボタ トラクター	小型特殊自動車	KL41H-12315	古川市 と3032	H14.10.25		4,389,000	4,389,000	
クボタ トラクター	小型特殊自動車	GMD-10956	古川市 と2937	H13.7.17		5,376,000	5,376,000	
クボタ トラクター	小型特殊自動車	L3202DT-51898	古川市 ひ340	S58.4.30		2,496,000	2,496,000	
クボタ トラクター	小型特殊自動車	MRQMAXUER2-RF4C		H31.3.5		7,754,400	7,754,400	
イセキ トラクター	小型特殊自動車	T83F-000947		H9.7.31		4,352,250	4,352,250	
普通型コンバイン	小型特殊自動車	WRH1000-2.1 10062		H24.9.13		9,429,000	9,429,000	
合 計						16	16	
						83,246,383	57,269,785	

(2) 重要物品導入状況 (1点 200万円以上)

<令和2年度>

機 械 器 具 名	型 式	数量	価格 (円)	備 考
バイオマルチインキュベータ	(株)日本医化器械製作所 LH-30LED-8CT	1	2,992,000	農業振興課から管理換
恒温振とう培養機	タイテック(株) BR-3300W	1	2,428,800	農業振興課から管理換
自脱型コンバイン	(株)クボタ AEROSTAR RACLEADER 220GMW2-SC	1	2,730,200	農業振興課から管理換
乗用トラクター (ロータリ付属)	(株)クボタ スラッガー SL450HCQPC2WF0C	1	6,285,400	農業振興課から管理換
乗用トラクター (ロータリ付属)	(株)クボタ スラッガー SL350HCQWF8C	1	4,739,900	農業振興課から管理換
乗用管理機 (GPSガイダンス含む)	(株)丸山製作所 BSA-651CEほか	1	5,873,450	農業振興課から管理換
ロールベアラ	(株)IHIアグリテック TCR2240AT	1	3,207,600	農業振興課から管理換
高圧洗浄機 (アタッチメント含む)	(株)洲本整備機製作所 HW-1310Eほか	1	2,105,950	農業振興課から管理換
イオンクロマトグラフ装置	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) Dionex ICS-6000ほか (ネブライザー含む)	1	13,981,000	農業振興課から管理換
大型送風定温乾燥器	(株)東洋製作所 DRLF23WB	1	2,145,000	農業振興課から管理換
全自動酸分解前処理装置	メルク(株) Milli-Q IQ7003 (機器分析タイプ)	1	2,035,000	農業振興課から管理換
いもち培養庫	(株)橋本製作所 545THC-3S	1	4,345,000	購入
室内型小型廃水処理装置	(株)ダルトン 重金属排水処理装置 全自動タイプDPN-50	1	3,784,000	農業振興課から管理換
自動溶媒抽出装置	FOSS社 ソックステック8000 6ポジション抽出システム (230V仕様)	1	4,158,000	農業振興課から管理換

大豆汎用コンバイン	(株)クボタ ERH450E-G	1	5,346,000	みやぎ米推進課から管理換
リモートセンシング画像解析処理PC	HP Workstation フルカスタマイズモデル Z6 G4 (タワー型)	1	2,276,120	農業振興課から管理換

<令和3年度>

機 械 器 具 名	型 式	数量	価格 (円)	備 考
DNA自動電気泳動装置	QIAGEN社製 QIAxcel Advanced, Prio PLUS Full Agreement, no PM	1	4,290,000	農業振興課から管理換

<令和4年度>

機 械 器 具 名	型 式	数量	価格 (円)	備 考
酸分解脂肪測定装置	FOSS社製 ハイドロテック8000 (230V仕様)	1	2,864,180	農業振興課から管理換
96ウェルリアルタイムPCR装置	ロシュ・ダイアグノスティックス社製 LightCycler96 Instrument	1	3,508,230	農業振興課から管理換
ロータリ付きホイール トラクター	井関農機(株)製 NTA365GQCY, ロータリ RAN18LS, マストボ ックス RANLDBOX スタンド (キャスター) SET	1	3,812,732	農業振興課から管理換
自動操舵システム (MR1000用)	(株)ニコン・トリンブル ディスプレイシステム本体Tri mble GFX-750, GNSS受信機NAV-900, 電動モーター式ステアリングAPMD	1	2,333,100	農業振興課から管理換
自動操舵システム (SL450用)	(株)ニコン・トリンブル ディスプレイシステム本体Tri mble GFX-750, GNSS受信機NAV-900, 電動モーター式ステアリングAPMD, 付属品一式含	1	2,333,100	農業振興課から管理換

6 試験研究課題・共同研究の状況

1) 受託試験（令和4年度）の概要

（令和 4年 5月31日現在）

事業名	委託者の名称	受託期間
民間育成品種の評価に関する委託試験	公益社団法人農林水産・食品産業技術振興会	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31
精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稻品種の育成	水稻ゲノム育種による超多収良食味品種の育成コンソーシアム 代表機関 公益財団法人岩手生物工学研究センター	R3. 5. 13 ～ R4. 3. 31
新規ALS阻害剤抵抗性雑草の発生実態と抵抗性対策剤の効果変動要因の解明	公益財団法人 日本植物調節剤研究協会	R3. 4. 26 ～ R4. 3. 31
令和3年度大豆育成系統の地域適応性検定栽培試験	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究部門	R3. 4. 1 ～ R4. 1. 15
国産農産物中のかび毒及びかび毒類縁体の動態解明並びに汚染の防止及び低減に関する研究	かび毒動態解明コンソーシアム 業務執行組合員 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31
先端ゲノム育種によるカドミウム低吸収性イネ品種の早期拡大と対応する土壌管理技術の確立	イノベ事業カドミ低吸収性稲拡大コンソーシアム 業務執行組合員 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31
農作物病虫害防除等の新農薬並びに新肥料資材効果確認試験	一般社団法人 宮城県植物防疫協会	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31
大豆用高速畝立て播種機の普及に向けた実証試験	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農業機械研究部門	R3. 4. 1 ～ R4. 2. 28
蒸気を利用した種子消毒装置及び同装置を基軸とした水稻種子消毒体系の性能評価	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農業機械研究部門	R3. 5. 11 ～ R4. 2. 28
中山間地域における精密、省力なスマート水稻種子生産技術の実証	中山間地域スマート水稻種子生産技術実証コンソーシアム会計管理者 公益社団法人みやぎ農業振興公社	R3. 4. 1 ～ R4. 3. 31

事業名	委託者の名称	受託期間
わが国の稲作のイノベーションを実現する初冬直播き栽培法の確立	初冬播きコンソーシアム代表機関 国立大学法人岩手大学	R3.4.1 ～ R4.3.31
広域エリアを対象とした大規模水田営農における生産基盤技術の確立	大規模水田営農コンソーシアム業務執行組合員 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	R3.5.24 ～ R4.3.31
直播栽培拡大のための雑草イネ等難防除雑草の省力的防除技術の開発	稲直播拡大雑草制御コンソーシアム業務執行組合員 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	R3.4.1 ～ R4.3.31
農業被害をもたらす侵略的外来種の管理技術の開発	侵略的外来種コンソーシアム業務執行組合員 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	R3.4.1 ～ R4.3.31

7 研究成果・技術指導の状況（令和2年度から令和4年度）

（1）「普及に移す技術」等に提出した課題

<令和2年度>（第96号）

イ 普及技術（分類）

- ① 大豆品種「ミヤギシロメ」の摘芯処理による生育制御法〔畑・特用作物〕
- ② 水稲品種「だて正夢」における窒素吸収量の目標値と推定法〔土壌肥料〕
- ③ 水稲品種「だて正夢」で適正籾数を得るための窒素吸収パターン〔土壌肥料〕

ロ 指導活用技術（分類）

- ① 高密度播種育苗における苗質と育苗日数の目安〔水稲〕
- ② 水稲の高密度播種における播種量と欠株率の比較〔水稲〕
- ③ 令和2年産水稲の玄米と品質の特徴〔水稲〕
- ④ ALS阻害剤交差抵抗性イヌホタルイの発生拡大〔水稲〕
- ⑤ 大麦品種「ホワイトファイバー」の β -グルカン含有率を維持するための追肥管理〔畑・特用作物〕
- ⑥ 小麦品種「夏黄金」の収穫時期と品質〔畑・特用作物〕
- ⑦ 粗砕炭カルの多量施用と湛水管理を併用した水稲のカドミウム吸収抑制（92号追補）〔土壌肥料〕
- ⑧ 宮城県内におけるイネいもち病菌007.2レースの発生〔病害虫〕
- ⑨ 高密度播種における種子処理剤を利用したいもち病防除〔病害虫〕
- ⑩ クモヘリカメムシ（斑点米カメムシ類）の分布域の拡大〔病害虫〕

ハ 普及情報（分類）

- ① 水稲品種「吟のいろは」の白米タンパク含有率の目安と種子の特性〔水稲〕

<令和3年度>（第97号）

イ 普及技術（分類）

- ① 大豆優良品種「すずみのり」〔畑・特用作物〕
- ② 大豆栽培における省力的耕起・整地方法〔畑・特用作物〕

ロ 指導活用技術（分類）

- ① 水稲優良品種「金のいぶき」の発芽率調査法〔水稲〕
- ② 除草剤の体系処理を中心とした雑草イネの防除〔水稲〕
- ③ 麦類の生育ステージ予測シート Ver. 4.0（追補）〔畑・特用作物〕

- ④ 混合堆肥複合肥料の作製とその肥効～牛ふん主体堆肥と硫酸を原料とするペレット肥料の水稻における施用効果～〔土壤肥料〕
- ⑤ 催芽後保管した粃は、ばか苗発生リスクが高くなる〔病害虫〕
- ⑥ ダイズ紫斑病のアゾキシストロビンに対する薬剤感受性低下〔病害虫〕
- ⑦ クモヘリカメムシの分布域の拡大と防除対策〔病害虫〕
- ⑧ 中後期除草剤による雑草防除が及ぼすアカスジカスミカメの密度抑制効果〔病害虫〕
- ⑨ イネドロオイムシのチアメトキサム感受性低下個体群に対するジアミド系殺虫成分の感受性〔病害虫〕
- ⑩ ダイズ害虫ツメクサガの発消長〔病害虫〕
- ⑪ ダイズ害虫ツメクサガに対する薬剤防除〔病害虫〕

ハ 普及情報（分類）

- ① 水稻湛水直播栽培における植物成長調整剤、殺菌剤、殺虫剤を被覆処理した水稻種子（商品名：リゾケアXL）の苗立ち〔水稻〕
- ② シアントラニリプロール・イソチアニル水和剤（商品名：ミネクトブラスター顆粒水和剤）の高密度播種苗におけるいもち病防除効果〔水稻〕

<令和4年度>（第98号）

イ 普及技術（分類）

- ① メタン発酵消化液の作物栽培への利用法～水稻栽培における利用～〔土壤肥料〕
- ② 水稻栽培における種粃ネットを活用した流入施肥法〔土壤肥料〕

ロ 参考資料（分類）

- ① 業務用水稻多収品種の栽培特性〔水稻〕
- ② 除草剤の体系処理を中心とした雑草イネの防除（追補）〔水稻〕
- ③ ドローンを活用した水稻の窒素吸収量及び生育量の推定〔土壤肥料〕
- ④ 「金のいぶき」のばか苗病発病程度〔病害虫〕
- ⑤ 水稻乾田直播におけるいもち病、紋枯病防除〔病害虫〕
- ⑥ 稲高密度播種苗における灌注処理剤の効果〔病害虫〕
- ⑦ 大豆栽培におけるタバコガ類に対するフルベンジアミド水和剤の防除効果〔病害虫〕

(2) 研究成果情報（情報名、部会名等、分類、新技術等評価）
該当なし

(3) 特許・品種登録関係

イ 特許

発明の名称「田んぼダム用堰板およびこれを用いた水位調整装置」

特許第 7201888 号、出願日：令和 2 年 8 月 7 日、登録日：令和 4 年 12 月 27 日

ロ 品種登録（水稲）

（出願）「東北酒 2 1 8 号（吟のいろは）」：出願番号 34279（令和元年 10 月 30 日）

品 種 名	(農林番号)	登録年月日	登録番号
サトホナミ	(水稲農林262号)	昭和57年 2月 3日	第 1 9 5 号
コガネヒカリ	(水稲農林266号)	昭和58年 2月24日	第 3 2 9 号
みやかおり		昭和59年 9月 5日	第 5 8 8 号
ハヤユタカ	(水稲農林284号)	昭和63年12月13日	第1 8 0 0 号
チヨホナミ	(水稲農林285号)	昭和63年12月13日	第1 8 0 1 号
はぎのかおり	(水稲農林314号)	平成 4年 2月29日	第3 0 4 4 号
ひとめぼれ	(水稲農林313号)	平成 4年 2月29日	第3 0 4 5 号
こころまち	(水稲農林321号)	平成 7年 3月27日	第4 4 7 2 号
ササニシキBL 1号	(水稲農林同質327号-1号)	平成 7年11月 8日	第4 7 6 9 号
ササニシキBL 2号	(水稲農林同質327号-2号)	平成 7年11月 8日	第4 7 7 0 号
ササニシキBL 3号	(水稲農林同質327号-3号)	平成 7年11月 8日	第4 7 7 1 号
ササニシキBL 4号	(水稲農林同質327号-4号)	平成 7年11月 8日	第4 7 7 2 号
ササニシキBL 5号	(水稲農林同質327号-5号)	平成10年 3月13日	第6 2 0 3 号
ササニシキBL 6号	(水稲農林同質327号-6号)	平成11年 3月17日	第7 0 7 9 号
ササニシキBL 7号	(水稲農林同質327号-7号)	平成11年 3月17日	第7 0 8 0 号
ササニシキBL 8号		平成11年 3月17日	第7 0 7 8 号
ゆめむすび	(水稲農林344号)	平成12年 3月29日	第7 8 1 4 号
まなむすめ	(水稲農林350号)	平成12年12月22日	第8 5 4 2 号
蔵の華	(水稲農林351号)	平成12年12月22日	第8 5 4 3 号
はたじるし	(水稲農林352号)	平成13年 3月18日	第8 8 3 2 号
こいむすび	(水稲農林360号)	平成14年 7月10日	第1 0 3 6 4 号
たきたて	(水稲農林373号)	平成16年 6月 4日	第1 2 0 5 5 号
オラガモチ	(水稲農林糯386号)	平成17年 3月23日	第1 2 9 6 1 号
もちむすめ	(水稲農林糯393号)	平成18年 3月 9日	第1 3 8 7 3 号
やまのしずく	(水稲農林428号)	平成22年 3月18日	第1 9 5 0 1 号
ゆきむすび	(水稲農林429号)	平成22年 3月18日	第1 9 5 0 2 号

げんきまる 東北 194号	(水稲農林439号)	平成24年 8月22日	第21882号
さち未来		平成26年 3月10日	第23201号
金のいぶき		平成26年 3月10日	第23202号
こもちまる		平成27年 7月 8日	第24378号
東北 211号		平成28年 9月13日	第25390号
だて正夢		平成28年 9月13日	第25391号
吟のいろは	品種登録申請中	令和 2年 3月 9日	第27868号
		令和元年10月30日	

ハ 実用新案・商標登録
該当なし

(4) 研究発表等

イ 研究報告・学会誌発表等（発表者、発表表題等、掲載誌等：ページ、年月）

<令和2年度>

- ① 大野菜穂子、暗渠疎水材としての「もみ殻」の長期的機能評価、農業農村工学会東北支部青森大会、2020.11.9～2020.11.22
- ② 大野菜穂子、電磁波計測による浅層土壌水分等の把握技術の開発、令和2年度農業農村工学研究懇話会、2021.3.2
- ③ 小泉慶雄、新しい田んぼダム用角落しの開発、令和2年度農業農村工学研究懇話会、2021.3.2
- ④ 真壁由衣、酒井博幸、高密度育苗栽培における薬剤側条施用技術及び育苗管理技術の実証、令和2年度新稲作研究会委託試験・現地実証展示圃成績、11-18、2021.3
- ⑤ 加進丈二、酒井博幸、櫻田史彦、真壁由衣、稲作バリューチェーンにおけるICTを活用した農業による省力化・収量改善の実証、令和2年度新稲作研究会委託試験・現地実証展示圃成績、139-144、2021.3
- ⑥ 石森裕貴、遠藤貴司、町直樹、中込佑介、宮城県における水稲品種・系統の多収要因の解析、日本作物学会東北支部会報 63：15-16、2020.12
- ⑦ 石森裕貴、佐伯研一、遠藤貴司、中込佑介、佐藤浩子、溝淵律子、田口文緒、福岡修一、山内歌子、安藤露、水林達実、高温登熟耐性に優れた水稲系統「東北206号」に対するHd1、Hd16、Hd18の出穂期改変効果、育種学研究 22：149-158、2020.12
- ⑧ 遠藤貴司、木皿正人、石森裕貴、イネ巨大胚遺伝子geの収量性に対する影響について、育種学研究 23（別1）：193、2021.3.
- ⑨ 遠藤貴司、町直樹、石森裕貴、島津裕雄、中込佑介、橋本建哉、瀬尾直美、宮城県酒造好適米「吟のいろは」の生育の目安、東北農業研究 73：1-2、2020.12
- ⑩ 菅野博英・林伸英・重藤貴志・山本瑛子（協友アグリ）、宮城県における水稲湛水直播栽培の現状とモリネート・ピラクロニル・テフリルトリオン混合FG剤を活用した省力技術、2020、4. 日本雑草学会第59回大会講演要旨集 P67.
- ⑪ 大川茂範・眞壁由衣・岩上哲史（京都大学）、宮城県の水稲作圃場におけるALS阻害剤抵抗性イヌホタルイの残草特性、2020.4、日本雑草学会第59回大会講演要旨集 P38.

- ⑫ 菅野博英・白土宏之、宮城県における水稲湛水直播栽培の生育と予測、2020. 5、東北農業気象（日本農業気象学会東北支部）、64：24.
- ⑬ 菅野博英・高橋信行・高橋浩明・佐々木次郎、宮城県水稲優良品種における玄米品質低下について、2020. 12、日本作物学会東北支部会報、63：17-18.
- ⑭ 菅野博英・田島大貴（山形農試）・川崎聡明（山形県庁）、水稲種子処理剤の処理方法と湛水直播栽培における苗立への影響、2020. 12、北日本病虫害研究会報、71:194
- ⑮ 大川茂範、水稲乾田直播栽培における入水前の除草剤体系処理によるオオクサキビの防除、2020、12. 東北農業研究、73:3-5
- ⑯ 大川茂範・岸田なつみ、水稲新品種「だて正夢」の食味特性と栽培法、2020. 12、日本作物学会東北支部会報、63：1-6.
- ⑰ 國嶋広達、宮城県における大豆主要品種の収量と気象の関係、2020. 12、東北農業研究：27-28
- ⑱ 小田中大輔・大川茂範、オモダカ種子の発芽特性と実生の薬剤応答性、2021. 2、第22回東北雑草研究会（オンライン開催）
- ⑲ 大川茂範・小田中大輔、雑草イネ初発地域における防除対策 第3報連年防除対策の効果と手取り除草の必要性、2021. 3、日本作物学会第251回講演要旨 P16.
- ⑳ 長谷川榮一・島秀之・小野寺和英・南條正巳、亜鉛廃鉱山下流域に発生した移植水稲の硫黄欠乏に対する石こうの床土混和・移植前苗箱施用の効果、日本土壤肥料学会誌第91号395-401、2020. 10
- ㉑ 高橋信行、岸田なつみ、阿部倫則、今野智寛、森谷和幸、佐々木次郎、メタン発酵消化液による水稲生育への肥料効果、2020年度土壤肥料学会岡山大会（ポスター発表）、2020. 9
- ㉒ 今野智寛、櫻田史彦、圃場排水性が異なる条件下における土壌交換性塩基の改良がダイズ生育に及ぼす影響、日本土壤肥料学会2020年度岡山大会（ポスター発表）、2020. 9
- ㉓ 今野智寛・高橋智紀・中野恵子・新良力也・大橋優二・工藤忠之・谷川法聖・森谷真紀子・南雲芳文・青木政晴・上原敬義・岡本潔・向井吉崇・中村憲治・大島正稔・加藤知美・森崎耕平・久野智香子・田畑茂樹・川原田直也・水谷嘉之・藤井清孝・蓮川博之・新谷浩樹・大塩哲視・山崎大貴・伊藤淳次・道上伸宏・三原美雪・藤本順子・仲谷敦志・樋口俊輔・竹下美保子・持永亮、FA056モデルを用いた土壌の乾湿指標によるダイズ乾湿害の実態解析、日本作物学会紀事第89巻第4号337-345、2020. 10
- ㉔ 宮野法近、温湯浸漬処理ユニットを用いた水稲種子の処理温度と防除効果について、令和2年度日本植物病理学会東北部会（口頭発表）、2020. 10
- ㉕ 今野智寛、酒井博幸、櫻田史彦、吉田修一、庄子一郎、収量と衛星画像 NDVI を活用した土壌肥沃度診断と追肥指標策定の試み、東北農業研究第73号5-6、2020. 12
- ㉖ 大江高穂、小野 亨、横堀亜弥、加進丈二、ダイズサヤムシガの発育零点と有効積算温度、北日本病虫害研究会報第71号118-123、2020
- ㉗ 大江高穂、小野 亨、横堀亜弥、加進丈二、宮城県におけるダイズサヤムシガの発生生態、北日本病虫害研究会報第71号124-130、2020

<令和3年度>

- ① 菅野博英・山下修、リゾケアXLを用いた湛水直播栽培における苗立の効果、2021、9. 日本作物学会第252回講演要旨 P8.
- ② 菅野博英・佐々木哲・庄山寿・及川一也、湛水直播栽培における鳥害を湛水出芽で抑制する、2021. 12、日本作物学会東北支部会報、64：33-34.
- ③ 菅野博英・山下修、リゾケアXLを用いた水稲湛水直播栽培における収量と品質、2022、3. 日本作物学会第253回講演要旨 P7.

- ④ 大川茂範・小田中大輔、 雑草イネ初発地域における防除対策 第4報 防除対策体系化の効果と広域伝播の要因、2022、3. 日本作物学会第253回講演要旨 P13.
- ⑤ 小田中大輔・大川茂範・岩上哲史、除草剤抵抗性遺伝子型オモダカ種子実生の ALS 阻害剤に対する反応、2022. 3、第23回東北雑草研究会一般講演要旨 P2.
- ⑥ 大川茂範・小田中大輔、 水位センサー・自動給水ゲートを用いた水稲用除草剤の効果安定化、2022、3. 第61回日本雑草学会講演要旨 P64
- ⑦ 宮野法近、ダイズ紫斑病の安定した発病方法及び防除方法の検討、令和3年度日本植物病理学会東北部会（口頭発表）、2021. 10
- ⑧ 宮野法近、催芽後保管日数別のばか苗発生について、令和3年度北日本病害虫研究会（口頭発表）、2022. 2
- ⑨ 高城拓未・宮野法近、2021年に宮城県内で分布したイネいもち病菌のレース、令和3年度北日本病害虫研究会（口頭発表）、2022. 2
- ⑩ 石川亜矢子、島 秀之、横島千剛、宮本武彰、金澤由紀恵、鷲尾英樹、小山倫子、若嶋淳子、瀧 典明、宮城県における水田土壌化学性の推移、宮城古川農試報 16：1-10、2022. 3
- ⑪ 櫻田史彦、今野智寛、辻英明、宮野法近、鈴木智貴、宮城県におけるダイズ黒根腐病発生の発生生態、宮城古川農試報 16：11-16、2022. 3
- ⑫ 高橋信行、佐々木次郎、森谷和幸、ドローン空撮画像を用いた水稲の生育・倒伏診断方法の検討、2021年度土壌肥料学会北海道大会（口頭発表）、2021. 9
- ⑬ 高橋信行、佐々木次郎、森谷和幸、マルチスペクトルカメラを用いた水稲の生育診断の検討、2021年度土壌肥料学会東北支部大会（口頭発表）、2021. 12
- ⑭ 小野亨、安居拓恵、川端泉穂、齋藤健多、合成性フェロモン剤を利用したダイズ害虫ツメクサガのモニタリング技術の検討、第75回北日本病害虫研究発表会（ポスター発表）、2022. 2
- ⑮ 川端泉穂、小野亨、齋藤健多、宮城県におけるクモヘリカメムシの防除体系の検討、第75回北日本病害虫研究発表会（ポスター発表）、2022. 2
- ⑯ 齋藤健多、小野亨、川端泉穂、タバコガ類幼虫のBT剤に対する薬剤感受性検定手法の検討、第75回北日本病害虫研究発表会（ポスター発表）、2022. 2
- ⑰ 横堀亜弥、綿引大祐、吉松慎一、宮城県のダイズ圃場で混発するオオタバコガとツメクサガにおける3齢幼虫の形態識別とDNAバーコード情報、北日本病害虫研究会報第72号 104-109、2021

<令和4年度>

- ① 嶋堯希・宮津進・佐藤一浩、スマート田んぼダムの効果検証、2022年度（第71回）農業農村工学大会講演会（古農試 Web 参加）、講演要旨 1-14、2022. 8. 31
- ② 嶋堯希・宮津進・佐藤一浩・小泉慶雄、宮城県大崎市米袋排水機場流域におけるスマート田んぼダムの効果検証、土木学会論文集 B1(水工学)Vo1、№2、I_259-I_264、2022
- ③ 菅原冬葵・加進丈二・横山裕美・吉田修一・酒井博幸、直進アシスト機能付き田植機を用いた湛水移植栽培技術、東北農業研究 75

- 号、19-20、2022.12
- ④ 菅野博英・山下修、リゾケア XL を用いた湛水直播栽培における種子の保存期間、2023. 3、日本作物学会第 255 回講演要旨集 P53.
 - ⑤ 小田中大輔、オモダカ種子実生の ALS 阻害剤に対する反応、2023. 3、第 25 回東北雑草研究会一般講演要旨
 - ⑥ 金原昭三、糯性大麦「ホワイトファイバー」の幼穂長による生育ステージ予測、2022. 12、東北農業研究第 75 号 P31
 - ⑦ 金原昭三、トリフルラリン乳剤の播種前土壌混和处理による帰化アサガオ類の生育抑制、2023. 3、第 25 回東北雑草研究会一般講演要旨 1
 - ⑧ 金原昭三、温湯による帰化アサガオ類の硬実打破処理、2023. 3、第 25 回東北雑草研究会一般講演要旨 2
 - ⑨ 今野智寛、大川茂範、阿部倫則、岸田なつみ、島秀之、横島千剛、浅野真澄、佐々木次郎、水稻品種「だて正夢」において適正粒数を得るための土壌窒素肥沃度を考慮した窒素施肥設計法、日本土壌肥料学会雑誌 93 巻 3 号 P. 131-140、2022. 6. 5
 - ⑩ 横島千剛、宮城県内農地土壌における放射性セシウム濃度とカリウム濃度について、第 65 回東北農業試験研究発表会、2022. 8. 2 (青森市)
 - ⑪ 横島千剛・島秀之・今野智寛・鷲尾秀樹・宮本武彰・石川亜矢子・金沢由紀恵、宮城県内農地土壌における放射性セシウム濃度とカリウム濃度について、東北農業研究第 75 号：27-28、2022
 - ⑫ 高橋信行、佐々木次郎、森谷和幸、ドローン空撮 RGB 画像を用いた水稻の生育診断方法の検討、2022 年度土壌肥料学会東京大会（口頭発表）、2022. 9
 - ⑬ 今野智寛、本間香貴、植被率を考慮した土壌調整植生指数によるダイズ初期成育の推定、日本土壌肥料学会講演要旨集 68 巻 P. 74、2022. 9
 - ⑭ 今野智寛、本間香貴、ダイズ倒伏における主茎伸長と風速の影響評価、日本作物学会第 254 回講演会要旨集 P. 36、2022. 9
 - ⑮ 高橋信行、低価格ドローン RGB 画像による水稻の生育診断の検討、2022 年度作物学会東京大会（ポスター発表）、2023. 3
 - ⑯ 今野智寛、本間香貴、主茎伸長モデルによるダイズの倒伏予測、日本作物学会第 255 回講演会要旨集 P. 47、2023. 3
 - ⑰ 桜田史彦、今野智寛、宮城県におけるダイズ黒根腐病に対する防除方法の検討、宮城県古川農試報 17：1-10、2023. 3
 - ⑱ 浅野真澄、菅野博英、水稻品種「ひとめぼれ」における白未熟粒の発生と登熟期気象条件及び生育・収量構成要素等の関係、宮城古川農試報 17：11-21、2023. 3
 - ⑲ 宮野法近、狐塚慶子、乾田直播におけるいもち病の発生、令和 4 年度日本植物病理学会東北部会（口頭発表）、2022. 9
 - ⑳ 宮野法近、狐塚慶子、圃場におけるばか苗病の発生消長、令和 4 年度北日本病害虫研究会（口頭発表）、2023. 2
 - ㉑ 狐塚慶子、宮野法近、宮城県におけるダイズ紫斑病菌のアゾキシストロビン剤感受性、令和 4 年度北日本病害虫研究会（口頭発表）、2023. 2
 - ㉒ 小野亨、川端泉穂、齋藤健多、中後期除草剤による雑草防除が及ぼすアカスジカスミカメの密度抑制効果、第 76 回北日本病害虫研究会（ポスター発表）、2023. 2
 - ㉓ 川端泉穂、小野亨、齋藤健多、田渕研、吉村英翔、舛谷悠祐、2019-2022 年の宮城県におけるクモヘリカメムシの分布状況、第 76 回北日本病害虫研究会（口頭発表）、2023. 2
 - ㉔ 齋藤健多、小野亨、川端泉穂、タバコガ類幼虫の BT 剤に対する薬剤感受性検定手法の検討、第 76 回北日本病害虫研究会（ポスター発表）、2023. 2

- ㊸ 小野亨、川端泉穂、齋藤健多、宮城県におけるダイズサヤタマバエとその寄生蜂の発生状況、第 67 回日本応用動物昆虫学会大会（ポスター発表）、2023. 3
- ㊹ 川端泉穂、小野亨、齋藤健多、田淵研、吉村英翔、宮城県におけるクモヘリカメムシ発生状況と発生量に影響する要因群の探索、第 67 回日本応用動物昆虫学会大会（ポスター発表）、2023. 3
- ㊺ 齋藤健多、小野亨、川端泉穂、ダイズにおけるタバコガ類（オオタバコガ・ツメクサガ）の発生要因の解析、第 67 回日本応用動物昆虫学会（ポスター発表）、2023. 3

ロ 雑誌資料への寄稿、著書等（氏名、タイトル、著書等名、発行者名、年月）

<令和 2 年度>

- ① 加進丈二、フタスジヒメハムシの発生生態と防除、植物防疫 第 74 巻第 11 号、p52～55、一般社団法人日本植物防疫協会、2020. 11
- ② 滝澤浩幸、麦作における難防除雑草「ネズミムギ」の対策、植物防疫みやぎ、2021、1、一般社団法人宮城県植物防疫協会
- ③ 宮野法近、小野亨、水稻育苗箱施用剤の効果的な使い方、日本農業新聞、2021. 2

<令和 3 年度>

- ① 大川茂範、水稻乾田直播栽培における雑草防除 – 入水前管理を中心に –、2022、1、植物防疫みやぎ、（一社）宮城県植物防疫協会
- ② 菅野博英、モリブデンコーティング種子を用いた水稻湛水直播栽培技術、新稲作研究会 50 周年記念誌、2022. 3、新稲作研究会
- ③ 小野亨・加進丈二・横堀亜弥、LED 光源を利用した予察灯の誘引性の評価、農業および園芸 第 96 巻 第 12 号、p1041～1052、2021. 12

<令和 4 年度>

- ① 金原昭三、畑作栽培の問題点と雑草防除について、2023、1、植物防疫みやぎ第 135 号、（一社）宮城県植物防疫協会

ハ その他（分担執筆）（タイトル、著書等名、年月）

<令和 2 年度>

- ① 宮城県稲作情報第 1 号（大豆含む）、2020. 6、みやぎ農業振興公社、印刷物、HP 掲載
- ② 宮城県稲作情報第 2 号（大豆含む）、2020. 7、みやぎ農業振興公社、印刷物、HP 掲載
- ③ 宮城県稲作情報第 3 号（大豆含む）、2020. 8、みやぎ農業振興公社、印刷物、HP 掲載
- ④ 宮城県稲作情報総括号（麦類大豆含む）、2021. 1、みやぎ農業振興公社、印刷物、HP 掲載
- ⑤ 令和 3 年度稲作指導指針、2021. 3、宮城県農業振興課
- ⑥ 令和 3 年度宮城県農作物病害虫・雑草防除指針、2021. 3、宮城県みやぎ米推進課
- ⑦ みやぎスマート農業（水田作）活用の手引き、宮城県農業振興課、2021. 3

<令和3年度>

- ① 令和4年度稲作指導指針、2022.3、宮城県農業振興課
- ② 令和4年度宮城県農作物病害虫・雑草防除指針、2022.3、宮城県みやぎ米推進課
- ③ 令和3年度植物防疫年報、2022.3、宮城県病害虫防除所

<令和4年度>

- ① 令和5年度稲作指導指針、2022.3、宮城県農業振興課
- ② 令和5年度宮城県農作物病害虫・雑草防除指針、2022.3、宮城県みやぎ米推進課
- ③ 令和4年度植物防疫年報、2022.3、宮城県病害虫防除所
- ④ みやぎの大豆・麦類栽培技術指導指針(Version1.1)、2023.2、宮城県みやぎ米推進課・宮城県農業再生協議会

(5) 刊行物・広報・普及資料の発行及び配布(資料名、年月、部数)

<令和2年度>

- ① 令和3年度水稻新配付系統参考成績書、2021.3、PDF印刷のみ
- ② 令和2年度水稻関係除草剤試験成績書、2020.10、100部
- ③ 宮城県古川農業試験場臨時報告第18号 宮城県における令和2年度水稻及び麦類・大豆の作柄解析、2021.3、PDF印刷のみ

<令和3年度>

- ① 100th Memorial magazine 1921~2021 2022.3 HP掲載 PDF印刷
- ② 令和4年度水稻新配付系統参考成績書、2022.3、PDF印刷のみ
- ③ 令和3年度水稻関係除草剤試験成績書、2021.10、100部
- ④ 宮城県古川農業試験場臨時報告第19号 宮城県における令和3年度水稻及び麦類・大豆の作柄解析、2022.3、PDF印刷のみ
- ⑤ 宮城県水稻直播べんがらモリブデンコーティング(べんモリ)栽培マニュアル、2022.3、2、500部
- ⑥ 宮城県水稻直播鉄コーティング栽培マニュアルVer.2、2022.3、PDF印刷のみ

<令和4年度>

- ① 令和5年度水稻新配付系統参考成績書、2023.3、PDF印刷のみ
- ② 令和4年度水稻関係除草剤試験成績書、2022.10、100部
- ③ 宮城県古川農業試験場臨時報告第20号 宮城県における令和4年度水稻及び麦類・大豆の作柄解析、2023.3、PDF印刷のみ

(6) 研修、技術指導、見学者等

イ 主催研修等

<令和2年度>

- ① 令和2年度食料生産地域再生のための先端技術展開事業(社会実装促進業務委託事業)、プラウ耕乾田直播・水稻低コスト栽培技術研修会、酒井博幸、乳苗等高密度播種苗と疎植栽培を組合わせた移植栽培、2020.12.1、登米市、71名
- ② 令和2年度古川農業試験場セミナー(コロナ禍における玄米食市場の現状と「金のいぶき」の今後の展開について)、堀内保昭、遠藤貴司、木皿正人、石森裕貴、我妻因信、2020.12.22、農業大学校古川教場、10名
- ③ 「だて正夢」・「金のいぶき」栽培指導者研修会、大川茂範、「だて正夢」の生育状況と今後の栽培管理について、2020.7.6、古川農試、56名
- ④ 「だて正夢」・「金のいぶき」栽培指導者研修会、小田中大輔、「金のいぶき」の生育状況と今後の栽培管理について、2020.7.6、古川農試、56名
- ⑤ 令和2年産良質米づくり研修会、菅野博英、令和2年産水稻の生育経過及び今後の栽培管理について、2020.7.15、古川農試、60名
- ⑥ 令和2年産良質米づくり研修会、大川茂範、「だて正夢」の生育状況及び今後の栽培管理について、2020.7.15、古川農試、60名
- ⑦ 令和2年産良質米づくり研修会、小田中大輔、「金のいぶき」の生育状況と今後の管理について、みやぎ米推進課主催、2020.7.15、古川農試、60名
- ⑧ 令和2年度宮城県大豆研修会、滝澤浩幸、大豆用高速畝立て播種機について、2020.7.15、古川農試大会議室、60名
- ⑨ 令和2年度宮城県大豆研修会、滝澤浩幸、大豆摘芯栽培について、2020.7.15、古川農試大会議室、60名
- ⑩ 令和2年度水稻湛水直播栽培現地検討会、菅野博英、2020.7.28、大和町、美里町、大崎市、35名
- ⑪ 令和2年産良質米づくり・大豆研修会、川端泉穂、今後の病虫害防除のポイント、2020.7.15、古川農試、60名
- ⑫ 令和2年産良質米づくり・大豆研修会、小野亨、今後の大豆栽培の管理技術(害虫防除)、2020.7.15、古川農試、60名

<令和3年度>

- ① 令和3年度「だて正夢」・「金のいぶき」栽培研修会、大川茂範、「だて正夢」の生育状況と今後の栽培管理について、2021.7.6、古川農試、50名
- ② 令和3年度「だて正夢」・「金のいぶき」栽培研修会、小田中大輔、「金のいぶき」の生育状況と今後の栽培管理について、2021.7.6、古川農試、50名
- ③ 令和3年度宮城県大豆研修会、滝澤浩幸、大豆用高速畝立て播種機について、2021.7.6、古川農試大会議室、70名
- ④ 令和3年度宮城県大豆研修会、滝澤浩幸、大豆摘芯栽培について、2021.7.6、古川農試大会議室、70名
- ⑤ 令和3年度水稻湛水直播栽培現地検討会、菅野博英、2021.8.27、加美町、大崎市、美里町、大和町、14名
- ⑥ 令和3年度水稻初冬直播栽培意見交換会、菅野博英 2021.12.6、岩沼市、34名

<令和4年度>

- ① 仙台湾沿岸における乾田直播栽培実践者の意見交換会、菅野博英・遠藤彦、2023.2.22、名取トレイルセンター、64名
- ② 令和4年度宮城県大豆・麦類研修会、滝澤浩幸、令和5年産大豆栽培のポイント～栽培管理編～、2023.3.10、古川農試大会議室、70名
- ③ 令和4年度宮城県大豆・麦類研修会、佐々木崇、令和5年産の麦類の生育状況と今後の管理について、2023.3.10、古川農試大会議室、70名
- ④ 加美町認定農業者連絡協議会研修会(加美町認定農業者連絡協議会)、小野寺博稔、肥料高騰対策に係る水稻関連の試験研究成果について、

2023. 3. 22、J A加美よつば営農センター、20名

- ⑤ 令和4年度植物防疫に関する研修会(一般社団法人宮城県植物防疫協会)、小野亨、ダイズ害虫ツメクサガの発生消長と防除対策、2022. 11. 25、農業共済ビル、64名

ロ 講演・技術指導等

講演・講習会(氏名、演題等、会議名、年月日、場所、対象人数)

<令和2年度>

- ① 酒井博幸、スマート農業について、令和2年度多賀城市認定農業者連絡会研修会、2021. 2. 18、多賀城市市民活動サポートセンター、20名
- ② 堀内保昭、遠藤貴司、村上和佳、食味官能試験、2020 宮城米キャンペーンキャラクター研修会、2020. 6. 24、古川農試、3名
- ③ 堀内保昭、水稻の品種育成について、出前講座、2021. 3. 16、古川工業高等学校定時制課程、50名
- ④ 遠藤貴司、古川農業試験場における水稻新品種の開発について、農業大学校「生物工学」移動学習、2020. 12. 8、古川農試、約30名
- ⑤ 菅野博英、水稻・畑作物の新技术、令和元年度J A営農指導員資格認証制度指定研修Ⅲ「栽培及び飼養 技術に関する研修」、JA 宮城中央会主催、2020. 7. 17、J A学園宮城、18名
- ⑥ 菅野博英、「宮城県の省力・低コスト稲作の状況について」、楽農研究会令和2年度成果検討会、(株)五十嵐商会主催、2020. 11. 20、仙台市「(株)五十嵐商会本店」、100名
- ⑦ 菅野博英、「宮城県における令和2年産水稻の生育・収量・品質と省力・低コスト稲作について」、楽農研究会、五十嵐商会(株)主催、2021. 2. 11、仙台市「(株)五十嵐商会本社」、180名
- ⑧ 菅野博英、「令和2年産水稻の割れ粳について」「業務用米について」、JA 営農担当者水稻栽培検討会、JA 全農みやぎ主催、2021. 3. 12、JAビル宮城、31名
- ⑨ 大川茂範、「雑草イネについて」、JA 営農担当者水稻栽培検討会、JA 全農みやぎ主催、2021. 3. 12、JAビル宮城、31名
- ⑩ 小野亨、「本年の斑点米カメムシ類の発生と被害の状況」、全農宮城県本部施肥・防除合理化展示圃総合検討会(全農宮城県本部主催)、2020. 12. 24、J Aビル宮城、32名
- ⑪ 小野亨、「令和2年産における斑点米カメムシ類の発生と被害状況」、J A営農担当者水稻栽培検討会(全農宮城県本部主催)、2021. 3. 12、J Aビル宮城、30名

<令和3年度>

- ① 加進丈二、中山間地域における精密、省力なスマート水稻種子生産技術の実証、スマート農業推進フォーラム 2021in 東北、2021. 10. 28、仙台国際センター(オンライン事例紹介)、約150名
- ② 佐々木都彦、水稻の品種育成について、出前講座、2021. 6. 4および2021. 10. 29、石巻北高等学校 約40名
- ③ 早坂浩志、古川農業試験場における水稻新品種の開発について、農業大学校「生物工学」移動学習、2021. 12. 8、古川農試、約30名
- ④ 大川茂範、「水田雑草の生存戦略～農業と雑草との関係～」、2021. 9. 17、みやぎ出前講座、登米総合産業高等学校
- ⑤ 國嶋広達、「令和3年産大豆の生育状況等について」、令和3年度畑作物共済損害評価研修会、宮城県農業共済組合主催、2021. 9. 24、農業共済ビル、30名

- ⑥ 滝澤浩幸、大川茂範、「水田・畑における難防除雑草の防除について」、令和3年度主要農作物種子生産技術向上研修会、公益社団法人みやぎ農業振興公社主催、2021.12.8、JAビル宮城、70名
- ⑦ 菅野博英、「宮城県の省力・低コスト稲作の状況について」、楽農研究会令和3年度成果検討会、(株)五十嵐商会主催、2021.12.10、(株)五十嵐商会本店、200名
- ⑧ 菅野博英、「水稻・畑作物の新技术」、令和3年度JA営農指導員資格認証制度指定研修Ⅲ 栽培及び飼養技術に関する研修、JA宮城中央会主催、2022.2.9、JAビル宮城、35名

<令和4年度>

- ① 堀内保昭、小田中大輔、川端泉穂、SS探究I講演会（キャリア形成）、2022.5.27、オンライン(ZOOM)、240名
- ② 佐藤一浩、田んぼダム実証区における効果の検証、令和4年度業際交流会、2022.9.5、宮城大学(太白キャンパス)、約100名
- ③ 酒井博幸、RTKを利用した試験の紹介、令和4年度アグリテック活用推進セミナー、2023.1.19、松島町文化観光交流館、約100名
- ④ 佐藤一浩・西大基、田んぼダムについて、東部圏域田んぼダム実証・普及ワーキンググループ勉強会、2023.1.20、古川農業試験場視聴覚室、約20名
- ⑤ 西大基、モミガラ暗渠疎水材の腐食調査、令和4年度農業農村整備技術研修会、2023.2.2、TKPガーデンシティ仙台勾当台、約150名
- ⑥ 佐藤一浩、田んぼダム実証区における効果の検証、令和4年度農業農村整備技術研修会、2023.2.2、TKPガーデンシティ仙台勾当台、約150名
- ⑦ 佐藤一浩、水田を活用した大規模露地園芸推進事業モデル地区における排水性の評価・検証、R4宮城県農業普及・試験研究連携活動研究会、2023.2.17、県庁2F講堂、約130名
- ⑧ 酒井博幸、子実用トウモロコシを導入した高収益・低投入型ブロックローテーション体系の構築プロジェクト、R4宮城県農業普及・試験研究連携活動研究会、2023.2.17、県庁2F講堂、約130名
- ⑨ 酒井博幸・菅野博英、水稻直播栽培・水田営農に係る視察研修、2023.2.20、古川農試、長野県農業革新支援専門員1名+Web参加
- ⑩ 佐々木都彦、水稻の品種育成について、出前講座、2022.11.4 石巻北高等学校 約20名
- ⑪ 早坂浩志、古川農業試験場における水稻新品種の開発について、農業大学校「生物工学」移動学習、2022.12.8、古川農試、約30名
- ⑫ 遠藤彦・菅野博英、宮城県の乾田直播の状況・初冬直播について、令和4年度水稻乾田直播講習会、JAいしのまき主催、2022.4.8、JAいしのまき営農経済センター、60名
- ⑬ 菅野博英、「つや姫」・「環境保全米」栽培について、令和4年度水稻研修会、JAみやぎ登米主催、2022.6.8、登米市北方公民館、18名
- ⑭ 菅野博英、宮城県の省力・低コスト技術について、令和4年度水稻作の省力化技術講習会、柴田町主催、2022.6.21、柴田町農村環境改善センター、45名
- ⑮ 小田中大輔、「金のいぶき」栽培法について、「金のいぶき」栽培研修会、北部地方振興事務所農業振興部主催、2022.7.4、大崎合同庁舎、40名
- ⑯ 金原昭三、大豆の今後の管理について、令和4年度宮城県大豆研修会、みやぎ米推進課主催、2022.7.12、大崎合同庁舎、50名

- ⑰ 金原昭三、「すずみのり」の特性について、令和4年度宮城県大豆研修会、みやぎ米推進課主催、2022.7.12、大崎合同庁舎、50名
- ⑱ 小田中大輔、令和4年産水稻の生育経過及び今後の栽培管理について・「金のいぶき」の生育状況及び今後の栽培管理について、令和4年産良質米づくり研修会、宮城県米づくり推進本部主催、2022.7.14、大崎生涯学習センター、70名
- ⑲ 菅野博英、水稻・畑作物の新技术、令和4年度JA宮農指導員資格認証制度指定研修Ⅲ栽培及び飼養技術に関する研修、JA宮城中央会主催、2022.8.31、JAビル宮城、20名
- ⑳ 佐々木崇、令和4年産大豆生育状況等について、令和4年度畑作物共済損害評価研修会、宮城県農業共済組合主催、2022.9.27、農業共済ビル、20名
- ㉑ 滝澤浩幸、麦類・大豆栽培に係る生産コスト低減に向けた試験研究、令和4年度水田フル活用の実践研修会、北部地方振興事務所農業振興部主催、2022.12.8、大崎合同庁舎、45名
- ㉒ 小田中大輔・遠藤彦、令和4年産水稻の作柄概況・本県における乾田直播栽培、令和4年度施肥・防除合理化展示圃総合検討会、全農宮城県本部主催、2022.12.21、JAビル宮城、100名
- ㉓ 滝澤浩幸・佐々木崇、多収栽培のためのポイント・令和4年産大豆の作柄概況について、JAあさひな大豆栽培講習会、JAあさひな主催、2023.2.16、JAあさひな統括本部、60名

ハ 現地検討及び指導会(助言指導)(指導内容等、会議名、年月日、場所、対象人数、対応者名)

<令和2年度>

- ① 乾田直播栽培における今後の栽培管理について、令和2年度第1回水稻直播栽培勉強会、2020.6.25、名取市他、25名、酒井博幸・真壁由衣
- ② 乾田直播栽培における今後の栽培管理について、令和2年度第2回水稻直播栽培勉強会、2020.7.21、名取市、8名、酒井博幸・真壁由衣
- ③ 乾田直播栽培における今後の栽培管理について、令和2年度第3回水稻直播栽培勉強会、2020.9.10、名取市他、21名、酒井博幸・真壁由衣
- ④ 「東北194号」の食味・品質を確保する栽培のポイントについて、令和2年度「ささ結」栽培現地検討会、2020.7.21、大崎市古川、約40名、遠藤貴司
- ⑤ 水稻ほ場審査における審査基準及び審査方法等について、主要農作物種子審査員研修会、2020.7.28、古川農試、20名、遠藤貴司、阿部倫則、山内歩実
- ⑥ 「吟のいろは」の特性について、酒造好適米「吟のいろは」勉強会、2020.7.31、美里町、約30名、堀内保昭、遠藤貴司、木皿正人、高橋浩明
- ⑦ 「吟のいろは」の特性について、酒蔵契約生産者勉強会、2020.8.21、美里町、約30名、堀内保昭、遠藤貴司、石森裕貴
- ⑧ 麦類一般種子栽培指導、麦類一般種子生産ほ巡回、2020.6.9、登米市迫町・豊里町、涌谷町、大崎市古川、8名、堀内保昭、阿部倫則、山内歩実
- ⑨ 水稻一般種子栽培指導 水稻一般種子生産ほ巡回 2020.8.20.25、登米市中田町、栗原市一迫町、加美町、大崎市古川、10名、堀内保昭、阿部倫則、山内歩実
- ⑩ 大豆一般種子栽培指導 大豆一般種子生産ほ巡回 2020.10.6.7.13、美里町、登米市米山町、石巻市、東松島市、栗原市、加美町、名取市、大河原町、仙台市18名、堀内保昭、阿部倫則、山内歩実
- ⑪ 「吟のいろは」の生育結果について、「吟のいろは」検討会、2021.3.9、美里町、約30名、堀内保昭、遠藤貴司、木皿正人、我妻因信

- ⑫ 宮城県における湛水直播栽培について、2020. 6. 18、古川農試（視聴覚室・場内ほ場）、2名（岩手県紫波郡）、菅野博英
- ⑬ 宮城県におけるリゾケア水稲湛水直播栽培試験について、2020. 6. 24、古川農試（場内ほ場）、10名（民間企業数社）、菅野博英
- ⑭ 場内の試験状況について、多収穫米品種「ゆみあずさ」栽培研修会、2020. 7. 3、古川農試（場内ほ場）、加美町ほ場、66名（JA全農みやぎ）、小田中大輔
- ⑮ 宮城県における水稲栽培の研究内容について、2021. 3. 8、古川農試（視聴覚室・場内ほ場）、6名（東北大学大学院農学研究科）、菅野博英
- ⑯ 令和2年度施肥・防除合理化展示圃現地検討会、2020. 7. 8-9、栗原金成・栗原瀬峰・角田・柴田、30名、大川茂範・小田中大輔
- ⑰ 大豆摘芯栽培について、令和2年産大豆の振り返り検討会、2021. 3. 5、みどりあーと山崎株式会社（大郷町）、10名、滝澤浩幸

<令和3年度>

- ① 「東北194号」の食味・品質を確保する栽培のポイントについて、令和3年度「ささ結」栽培現地検討会、2021. 7. 29、大崎市古川、約28名、佐々木都彦
- ② 水稲ほ場審査における審査基準及び審査方法等について、主要農作物種子審査員研修会、2021. 7. 30、古川農試、20名、早坂浩志、阿部倫則、山内歩実
- ③ 麦類一般種子栽培指導、麦類一般種子生産ほ巡回、2021. 4. 14～15および6. 8、登米市、大崎市、大河原町 8名、阿部倫則、山内歩実
- ④ 水稲一般種子栽培指導 水稲一般種子生産ほ巡回 2021. 7. 7、7. 14、8. 17、8. 18 登米市、栗原市、加美町、大崎市、10名、阿部倫則、山内歩実
- ⑤ 大豆一般種子栽培指導 大豆一般種子生産ほ巡回 2021. 10. 5、6、12、美里町、登米市、石巻市、栗原市、加美町、大崎市、名取市、角田市、仙台市 18名、阿部倫則、山内歩実
- ⑥ 漏生イネ・雑草イネ対策について、水稲乾田直播講習会、JAいしのまき主催、2021. 4. 8、JAいしのまき営農経済センター、36名、大川茂範
- ⑦ 水稲乾田直播栽培について、第1回水稲乾田直播栽培現地検討会、JAいしのまき主催、石巻・東松島市内、2021. 5. 20、50名、大川茂範
- ⑧ 水稲乾田直播栽培について、第1回水稲乾田直播勉強会、亘理農業改良普及センター主催、2021. 6. 24、岩沼市、40名、大川茂範
- ⑨ 水稲乾田直播栽培について、小牛田乾田直播研究会現地検討会、JA新みやぎ小牛田営農センター主催、2021. 6. 25、美里町小牛田、15名、大川茂範
- ⑩ 水稲作の雑草防除対策について、施肥・防除合理化展示圃現地検討会、JA全農みやぎ主催、2021. 6. 30、栗原市、20名、大川茂範
- ⑪ 水稲作の雑草防除対策について、施肥・防除合理化展示圃現地検討会、JA全農みやぎ主催、2021. 7. 2、名取市・柴田町、15名、大川茂範
- ⑫ 水稲乾田直播栽培について、水稲乾田直播勉強会、仙台農業改良普及センター主催、2021. 7. 7、仙台市若林区、60名、大川茂範
- ⑬ 金のいぶき栽培法、涌谷町「金のいぶき」現地検討会、JA新みやぎ涌谷営農センター主催、2021. 7. 16、涌谷町、30名、小田中大輔
- ⑭ 水稲乾田直播栽培について、第2回水稲乾田直播栽培現地検討会、JAいしのまき主催、2021. 7. 16、石巻・東松島市内、60名、大川茂範
- ⑮ 大豆摘芯栽培について、大豆摘芯栽培現地検討会、仙台農業改良普及センター主催、2021. 7. 21、大郷町、15名、滝澤浩幸
- ⑯ 水稲乾田直播栽培について、第2回水稲乾田直播勉強会、亘理農業改良普及センター主催、2021. 7. 29、岩沼市、30名、大川茂範
- ⑰ 水稲作の難防除雑草対策について、難防除雑草対策現地検討会、西根地区担い手農家協議会主催、2021. 8. 20、角田市西根地区、30名、大川茂範
- ⑱ 水稲作の難防除雑草対策について、西根地区担い手農家協議会難防除雑草対策検討会、西根地区担い手農家協議会主催、2021. 11. 26、角田市

西根自治センター、20名、大川茂範

- ①⑨ 水稲乾田直播栽培について、水稲乾田直播勉強会「総合検討会」、亙理農業改良普及センター主催、2022.1.18、岩沼市玉浦コミュニティーセンター、35名、大川茂範
- ②⑩ 水稲乾田直播栽培について、小牛田乾田直播研究会実績検討会、JA 新みやぎ小牛田営農センター主催、2022.1.27、美里町小牛田、10名、大川茂範

<令和4年度>

- ① 「東北194号」の食味・品質を確保する栽培のポイントについて、令和4年度「ささ結」栽培現地検討会、2022.7.22、大崎市古川、約18名、佐々木都彦
- ② 水稲、麦類及び大豆ほ場審査における審査基準及び審査方法等について、主要農作物種子審査員研修会、2022.7.29、岩沼分庁舎、20名、山内歩実
- ③ 麦類一般種子栽培指導、麦類一般種子生産ほ巡回、2022.4.13～14、5.19及び6.7、登米市、大崎市、大河原町 8名、西條和彦、山内歩実
- ④ 水稲一般種子栽培指導 水稲一般種子生産ほ巡回、2022.7.5～6、7.12、8.16～17及び8.23、登米市、栗原市、加美町、大崎市、10名、西條和彦、山内歩実
- ⑤ 大豆一般種子栽培指導 大豆一般種子生産ほ巡回、2022.7.25、27～28、8.2、及び10.4～5、11、美里町、登米市、石巻市、栗原市、加美町、大崎市、名取市、角田市、仙台市 18名、西條和彦、山内歩実
- ⑥ 初冬直播について、第2回水稲乾田直播栽培現地検討会、仙台農業改良普及センター主催、2022.5.17、仙台市内、26名、菅野博英
- ⑦ 水稲乾田直播栽培について、第1回水稲乾田直播栽培現地検討会、JA いしのまき主催、2022.5.18、石巻・東松島市内、50名、遠藤彦
- ⑧ 初冬直播について、第1回水稲乾田直播栽培勉強会、亙理農業改良普及センター主催、2022.5.26、岩沼市内、42名、菅野博英
- ⑨ 初冬直播について、第2回水稲乾田直播栽培勉強会、亙理農業改良普及センター主催、2022.7.8、岩沼市内、32名、菅野博英
- ⑩ 水稲乾田直播栽培について、第2回水稲乾田直播栽培現地検討会、JA いしのまき主催、2022.7.15、石巻・東松島市内、50名、遠藤彦
- ⑪ 初冬直播について、初冬直播栽培現地視察、岩手大学主催、2022.8.26、仙台市・岩沼市、3名、菅野博英
- ⑫ 米に対するカドミウムの影響、新下谷地地区における安全な米の市場流通を図るための研修会、北部地方振興事務所主催、2022.7.12、大崎市田尻大貫地区公民館、15名、横島千剛・島秀之

二 見学者、来訪者

<令和2年度>

総見学者数は105人で、その内訳は以下の通りであった。

種 別	県 内		県 外		海 外		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
農業関係者	0	0	1	17	0	0	1	17
大学・高校	3	14	0	0	0	0	3	14
小・中学校	2	54	0	0	0	0	2	54
そ の 他	1	20	0	0	0	0	1	20
合 計	6	88	1	17	0	0	7	105

<令和3年度>

総見学者数は95人で、その内訳は以下のとおりであった。

種 別	県 内		県 外		海 外		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
農業関係者	0	0	0	0	0	0	0	0
大学・高校	0	0	0	0	0	0	0	0
小・中学校	4	77	0	0	0	0	4	77
そ の 他	1	18	0	0	0	0	1	18
合 計	5	95	0	0	0	0	5	95

<令和4年度>

総見学者数は334人で、その内訳は以下のとおりであった。

種 別	県 内		県 外		海 外		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
農業関係者	3	21	8	83	0	0	11	104
大学・高校	1	6	1	7	0	0	2	13
小・中学校	5	161	0	0	0	0	5	161
そ の 他	3	22	2	34	0	0	3	56
合 計	12	210	11	124	0	0	23	334

※新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度及び令和3年度は、見学者・来訪者数はR元の1、096名から大幅に減少した。令和

4年度は新型コロナウイルス感染症対策の緩和で、見学者・来訪者数はやや増加した。

ホ イベント・ホームページ等による情報提供・公開

(イ) ホームページ等

<令和2年度>

- ① 概要(要覧)、視察・参観案内、稲作・大豆作・麦作情報、育成品種一覧等をホームページ上で公開した。 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hk-nousi/>
- ② 研究PRパンフレット、2020.7.1、気温の上昇がイネ紋枯病へ及ぼす影響（作物環境部）
- ③ 研究PRパンフレット、2020.7.1、玄米の乳白粒発生に及ぼす籾数と気温との関係（作物環境部）
- ④ 研究PRパンフレット、2020.8.27、水稲直播栽培における漏生イネの防除対策（作物栽培部、作物環境部）
- ⑤ 研究トピックス、2020.10.26、スマート農業の推進について～農薬散布用ドローン（無人マルチローター）の活用～（水田営農部）
- ⑥ 研究トピックス、2021.3.11、夏の低温と高温両方に強いイネ品種の開発について（作物育種部）
- ⑦ 研究トピックス、2021.3.11、スマート農業の推進について（水稲種子生産におけるスマート農業の取組）（水田営農部）

<令和3年度>

- ① 概要(要覧)、視察・参観案内、稲作・大豆作・麦作情報、育成品種一覧等をホームページ上で公開した。 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hk-nousi/>
- ② 研究PRパンフレット、2021.9.3、水稲高密度播種育苗における苗質と育苗日数の目安（水田営農部）
- ③ 研究PRパンフレット、2021.6.15、大豆品種「ミヤギシロメ」の摘芯処理による生育制御法（作物栽培部）
- ④ 研究PRパンフレット、2021.6.15、水稲品種「だて正夢」で適正籾数を得るための窒素吸収パターン（作物環境部）
- ⑤ 研究トピックス、2021.10.7、出穂期の遅いイネの開発について（作物育種部）
- ⑥ 研究トピックス、2022.2.21、水稲乾田直播栽培におけるいもち病発生の特徴について（作物環境部）
- ⑦ 研究トピックス、2022.3.31、高収益作物導入に向けた排水改良技術の検討について（水田営農部）

<令和4年度>

- ① 概要(要覧)、視察・参観案内、稲作・大豆作・麦作情報、育成品種一覧等をホームページ上で公開した。 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hk-nousi/>
- ② 研究PRパンフレット、2022.8.16、大豆優良品種「すずみのり」（作物育種部）
- ③ 研究トピックス、2022.10.28、田んぼダム実証区における効果の検証について（水田営農部）
- ④ 研究トピックス、2023.1.10、種籾ネットを活用した簡易で省力的な流入施肥（作物環境部）
- ⑤ 研究PRパンフレット、2023.3.6、大豆栽培における省力的耕起・整地方法（作物栽培部）
- ⑥ 研究トピックス、2023.3.6、乾田直播の春作業分散を図る早期播種栽培（作物栽培部）

(ロ) イベント

<令和2年度>

- ① 「ささ結」6年目の新米試食会、<大崎の米「ささ結」ブランドコンソーシアム／「ささ結」新米試食>、2020.9.28、大崎市祥雲閣、齋藤益郎
- ② 第4回全国ササニシキ系『ささ王』決定戦、<大崎の米「ささ結」ブランドコンソーシアム>、2020.11.20、古川農業試験場、齋藤益郎・吉田修一・村上和佳

<令和3年度>

- ① 「ささ結」新米試食会、<大崎の米「ささ結」ブランドコンソーシアム／「ささ結」新米試食>、2021.10.5、大崎市祥雲閣、渡邊雅弘
- ② 第5回全国ササニシキ系『ささ王』決定戦、<大崎の米「ささ結」ブランドコンソーシアム>、2021.11.19、古川農業試験場、渡邊雅弘・吉田修一・村上和佳

<令和4年度>

- ① 「ささ結」新米試食会、<大崎の米「ささ結」ブランドコンソーシアム／「ささ結」新米試食>、2022.9.28、大崎市祥雲閣、堀内保昭
- ② 第6回全国ササニシキ系『ささ王』決定戦、大崎の米「ささ結」ブランドコンソーシアム>、2022.11.25、古川農業試験場、齋藤康彦・吉田修一・村上和佳

(7) 研修等受け入れ

<令和2年度>

- ① 専門項目基礎研修（普及指導員1名）
6月8日～6月12日、6月29日～7月3日、7月13日～7月17日、8月3日～8月7日、8月31日～9月4日、10月26日～10月30日
- ② インターンシップ：東北大学、山形大学、岩手大学 計3名 令和2年8月31日～9月4日

<令和3年度>

- ① 専門項目基礎研修（普及指導員3名＋スポット参加1名）
6月16日～6月18日、6月28日～6月30日、7月12日～7月16日、8月2日～8月6日、8月26日～8月27日、8月30日～9月3日、10月25日10月29日

<令和4年度>

- ① 専門項目基礎研修（普及指導員4名）
6月14日～6月17日、6月28日～6月30日、7月19日～7月22日、8月3日～8月4日、8月29日～9月2日、9月5日～9月7日、10月3日～10月5日、10月24日～10月28日
- ② インターンシップ：東北大学、岩手大学、宮城大学 計4名 令和4年8月29日～9月1日

8 研究マネジメントについて

(1) 農業系試験研究機関の連絡調整会議実施状況

イ 宮城県農業関係試験研究推進会議等の開催

農業・園芸総合研究所、古川農業試験場、畜産試験場の相互連携を図るため「農業関係試験研究機関推進会議」（以下「推進会議」という。また、推進会議の下に「幹事会」を設置している。）を開催している。事務局機能は農業・園芸総合研究所企画調整部とする。

【会議開催回数】

区分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	備考
幹事会	4	5	5	各場所企画担当部長
推進会議	4	3	4	場所長及び副場所長

【令和4年度】

年 月 日	会議名	摘要
6月3日	幹事会	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度農業関係試験研究推進スケジュール等について 普及に移す技術第97号候補課題（案）について 令和4年度第1回内部評価委員会評価等対象課題について 令和5年度農業関係試験研究要望課題について 令和6年度農業関係試験研究要望課題について 農業関係試験研究機関研修員制度取扱要綱について 県庁事業課及び普及センター等との連携について 革新支援センター等との情報共有について 農業関係試験研究機関のあり方検討について 試験研究120周年記念誌について
6月14日	推進会議	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度農業関係試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について 普及に移す技術第97号候補課題について 試験研究120周年記念誌について
9月1日	幹事会	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県試験研究機関評価委員会について 令和5年度研究課題等について 令和6年度新規研究課題設定について
9月14日	推進会議	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県試験研究機関評価委員会について

		<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度研究課題等について 令和6年度要望課題の照会方法について
10月28日	幹事会	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度新規課題について 令和5年度研究計画について 普及に移す技術の区分名の見直しについて 宮城県における社会実装の進め方について 気候変動に対応した農業技術の社会実装事業アンケートについて 研修員制度の見直しについて 共通テーマの成果報告（中間報告）について
11月10日	推進会議	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度新規課題について 令和5年度研究計画について 普及に移す技術の区分名の見直しについて 宮城県における社会実装の進め方について 研修員制度の見直しについて
3月8日	幹事会	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度研究計画について 令和6年度要望課題について 令和6年度新規事業について 普及に移す技術第98号の掲載課題候補について 重点的課題等の取扱いについて 令和5年度部課長・地方公所長等合同会議に係る令和4年度共通テーマの進捗状況報告について 企画調整会議の対応について
3月16日	推進会議	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度農業関係試験研究推進スケジュールについて 令和5年度研究計画について 令和6年度要望課題について 普及に移す技術第98号の掲載課題候補について 重点的課題等の取扱いについて 宮城県農業関係試験研究機関育成品種等種苗譲渡要領の改正について 農業関係試験研究推進会議の構成員について

【令和3年度】

月 日	会議名	摘要
4月28日	幹事会	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度農業関係試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について

	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度農業関係試験研究内部評価委員会及び農業関係試験研究機関評価部会について ・令和4年度農業関係試験研究要望課題について ・令和3年度農業関係試験研究機関知的財産権管理委員会について ・令和3年度試験研究計画の修正に係るスケジュールについて ・研究成果情報のホームページ等を通じた発信について ・分野横断型プロジェクト研究の促進について ・研究員の計画的人材育成について
5月14日	幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度農業関係試験研究推進会議幹事会における検討事項への対応について ・令和3年度農業関係試験研究推進会議の開催に向けた依頼事項について
6月16日	推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・農業関係試験研究推進会議設置要綱等の一部改正について ・農業関係試験研究内部評価委員会設置要綱の一部改正について ・第1回宮城県試験研究評価委員会農業関係試験研究評価部会等の協議内容について ・農業関係試験研究要望課題について ・農業関係試験研究組織再編の検証について ・農業技術の社会実装について
9月16日	幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度研究課題等について ・3場所連携プロジェクト等の推進について ・令和4年度試験研究計画における共通テーマについて ・令和5年度要望課題のスケジュール等について ・組織再編の検証結果について
10月19日	幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度試験研究課題等について ・令和4年度重点的研究課題等と評価について ・令和4年度試験研究計画における共通テーマについて ・令和4年度農政部企画調整会議における説明事項について ・普及に移す技術作成スケジュールの見直しについて ・知的財産の取扱いについて ・令和5年度要望課題について ・普及、試験研究 Web ミーティングについて
10月27日	推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度試験研究課題等について ・令和4年度重点的研究課題等と評価の流れについて ・令和4年度試験研究計画における共通テーマについて ・令和4年度農政部企画調整会議における説明事項について

		<ul style="list-style-type: none"> ・普及に移す技術作成スケジュールの見直しについて ・知的財産の取扱いについて
3月11日	幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度普及に移す技術第97号候補課題（案）について ・「普及に移す技術」等作成マニュアルの改正について ・「普及に移す技術」等の作成上の留意点について ・令和5年度農業関係試験研究要望課題について ・令和4年度農業関係試験研究計画（案）について ・宮城県における社会実装の進め方について ・令和3年度における共通テーマの取り組みについて ・みどりの食料システム戦略について ・農業関係試験研究120周年記念誌について
3月16日	推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度普及に移す技術第97号候補課題（案）について ・「普及に移す技術」等作成マニュアルの改正について ・「普及に移す技術」等の作成上の留意点について ・令和5年度農業関係試験研究要望課題について ・令和4年度農業関係試験研究計画（案）について ・宮城県における社会実装の進め方について ・令和3年度における共通テーマの取り組みについて ・農業関係試験研究120周年記念誌について

【令和2年度】

月 日	会議名	摘要
5月15日	幹事会 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度農業関係試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について ・第9次試験研究推進構想の策定について ・農業関係試験研究内部評価委員会及び農業関係試験研究機関評価部会について ・令和3年度農業関係試験研究要望課題について ・農業関係試験研究機関知的財産権管理委員会について ・令和2年度農業関係試験研究計画のスケジュールについて ・研究成果情報のホームページ等を通じた発信について ・分野横断型プロジェクト研究の促進について ・研究員の計画的人材育成について
6月9日	推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第9次試験研究推進構想の策定について

		<ul style="list-style-type: none"> ・農業関係試験研究内部評価委員会及び農業関係試験研究機関評価部会について ・令和3年度農業関係試験研究要望課題について ・分野横断型プロジェクト研究の促進について ・研究員の計画的人材育成について ・令和2年度農業関係試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について ・農業関係試験研究機関知的財産権管理委員会について ・令和2年度農業関係試験研究計画のスケジュールについて ・研究成果情報のホームページ等を通じた発信について
7月22日	幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・第9次試験研究推進構想の方向性等について ・令和3年度新規研究課題について ・分野横断型プロジェクト研究の促進について ・令和2年度農業関係試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について ・令和4年度農業関係試験研究要望課題について ・令和2年度農業関係試験研究計画について
8月7日	推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第9次試験研究推進構想の方向性等について ・令和3年度新規研究課題について ・分野横断型プロジェクト研究の促進について ・令和2年度農業関係試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について ・令和4年度農業関係試験研究要望課題について ・令和2年度農業関係試験研究計画について
9月30日	幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・第9次試験研究推進構想中間案（素案）について ・令和3年度新規研究課題について ・令和2年度第2回農業関係試験研究内部評価委員会について ・令和3年度農業関係試験研究計画（素案）について ・分野横断型プロジェクト研究の促進について ・令和2年度農業関係試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について ・特許権及び品種登録に係る令和3年度の予定について
10月9日	推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第9次試験研究推進構想中間案（素案）について ・令和3年度新規研究課題について ・令和2年度第2回農業関係試験研究内部評価委員会について ・令和3年度農業関係試験研究計画（素案）について ・分野横断型プロジェクト研究の促進について

		<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度農業関係試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について 特許権及び品種登録に係る令和3年度の予定について
2月19日	幹事会 オンライン	<ul style="list-style-type: none"> 第9次試験研究推進構想中間案（素案）について 普及に移す技術第96号候補課題（案）について
3月11日	幹事会 オンライン	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度農業関係試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について 普及に移す技術第96号候補課題（案）について 第9次試験研究推進構想（案）について 令和3年度農業関係試験研究計画（案）について 令和3年度依頼研究員等研修候補（案）について 分野横断型プロジェクト研究の促進について
3月18日	推進会議	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度農業関係試験研究推進スケジュール及び試験研究成果広報計画について 普及に移す技術第96号候補課題（案）について 第9次試験研究推進構想（案）について 令和3年度農業関係試験研究計画（案）について 令和3年度依頼研究員等研修候補（案）について 分野横断型プロジェクト研究の促進について

ロ 宮城県農業関係試験研究機関知的財産権管理委員会

農業系試験研究機関三場所に係る新品種及び特許等の知的財産権の取得、実施、運用、その他知的財産権の維持管理等に関し、必要な事項を審議する。

開催年月日	会議名	内容
令和4年4月26日	R4第1回委員会	品種の維持継続について
令和4年6月28日	R4第2回委員会（書面決議）	品種の維持継続について
令和4年11月17日	R4第3回委員会	①品種の維持継続について②特許権の維持継続について
令和5年1月31日	R4第4回委員会	①品種の維持継続について②職務発明の認定と権利の承継について③特許の審査請求について
令和3年5月7日	R3第1回委員会（書面決議）	品種の維持継続について
令和4年1月27日	R3第2回委員会（書面決議）	①品種の維持継続について②特許権の維持継続について③特許の審査請求について
令和4年2月25日	R3第3回委員会	職務発明の認定と権利の承継について
令和2年5月8日	R2第1回委員会（書面決議）	品種の維持継続について
令和2年6月26日	R2第2回委員会	①職務発明の認定と実施許諾について②特許権の維持継続について
令和2年9月10日	R2第3回委員会	①職務発明の認定について②品種の維持継続について③県有特許権の売却について
令和3年2月3日	R2第4回委員会（web）	①職務発明の認定と権利の承継について②特許権の維持継続について

(2) 場内調整会議、各種委員会等の設置

イ 調整会議

毎週火曜に定例的に開催。場の運営や試験研究の進行管理、情報交換を行っている。
(表彰選考、環境整備、研究倫理含む)

ロ 各種委員会

以下の委員会（12種）を設置して、研究の推進にあたっている。

- 評価委員会：試験研究課題の評価
- 優良品種候補選定等検討会議：水稻・大麦・小麦・大豆の奨励品種採用の検討
(奨励品種候補検討部会、水稻育成品種取扱検討部会)
- 研究予算検討委員会：予算の配分・執行等の検討
- 企画広報委員会：各種イベント、広報活動の検討
(作業部会、HP部会、参観デーWG)
- 農場管理委員会：農場の作業計画等の検討
- 農業機械・施設等整備委員会：機械・機器・施設の整備・更新等の検討
- 図書委員会：図書の整理・購入
- 開放型実験運営員会：実験器具、備品等の貸出等
- 編集委員会：研究報告・研究資料の出版
- 自主研修（場内ゼミ）企画委員会：学会発表事前練習等
- 毒劇物取扱責任者連絡会：毒劇物の管理
- 安全衛生委員会：職員の安全と健康を確保し、農作業事故を防止し、快適な職場環境の形成

(3) 業務評価

研究課題の立案、選定、研究終了後の成果の波及に至るプロセス及び県立試験研究機関の運営全般について総合的見地から機関の果たすべき役割を検証、適切な評価を行い、より成果重視の効率的な研究推進、必要な運営体制の整備等に関する方針の決定に向け、必要な助言等を得るよう、「農業関係試験研究機関業務評価委員会」を開催している。内部評価委員会については県庁関係各課からの評価を、外部評価部会については、学識経験者や県内生産者、一般県民からの評価を受けている。

農業関係試験研究機関業務評価の開催状況

【令和4年度】 ※「評価結果」については、古川農業試験場分のみ記載。以下同様。

月 日	区分	摘要	評価結果
7月21日	内部評価委員会 オンライン	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度終了課題の事後評価及び継続課題の中間評価について（審議） 令和3年度終了課題の機関内部評価結果について（重点的試験研究課題以外）（報告） 令和4年度農業関係試験研究計画について 	事後評価：優れた研究であった 1 課題 中間評価：計画どおりである 2 課題
11月21日	内部評価委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度新規課題の事前評価について（審議） その他の課題の説明・報告 	事前評価：ぜひ採択すべきである 1 課題
10月27日	農業関係試験研究機関評価部会	<ul style="list-style-type: none"> 畜産試験場機関評価について（審議） 	
12月16日	農業関係試験研究機関評価部会	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度終了課題の事後評価及び継続課題の中間評価について（審議） 令和5年度新規課題の事前評価について（審議） 令和3年度終了課題及び継続課題の内部評価結果について（報告） 令和5年度新規課題（重点以外）の内容と機関内部評価について（報告（ 	事後評価：優れた研究であった 1 課題 中間評価：計画どおりである 2 課題 事前評価：ぜひ採択すべきである 1 課題

【令和3年度】

月 日	区分	摘要	評価結果
7月15日	内部評価委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度終了課題の事後評価及び継続課題の中間評価について（審議） 	事後評価：妥当な研究だった 1 課題

		<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度終了課題の機関内部評価結果について（重点的試験研究課題以外）（報告） 令和3年度農業関係試験研究計画について 令和3年度新規課題の概要について（重点的試験研究課題以外）（報告） 	
8月3日	農業関係試験研究機関評価部会	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度終了課題の事後評価及び継続課題の中間評価について（審議） 第9次農業試験研究推進構想について（報告） 令和3年度農業関係試験研究計画について（報告） 普及に移す技術第96号について（報告） 	事後評価：妥当な研究であった 1課題
11月25日	内部評価委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度新規課題の事前評価について（審議） 令和4年度新規課題の概要と機関内部評価結果について 令和4年度農業関係試験研究課題体系図について 	事前評価：ぜひ採択すべきである 1課題
12月9日	農業関係試験研究機関評価部会	<ul style="list-style-type: none"> 農業・園芸総合研究所の機関評価について（審議） 	
12月9日	農業関係試験研究機関評価部会	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度新規課題の事前評価について（審議） 令和4年度新規課題（政策的研究課題）について（報告） 令和4年度新規課題（重点的研究課題以外）について（報告） 	事前評価：ぜひ採択すべきである 1課題

【令和2年度】

月 日	区分	摘要	評価結果
6月17日	内部評価委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度終了課題の事後評価及び継続課題の中間評価について（審議） 令和元年度終了課題の機関内部評価結果について（重点的試験研究課題以外）（報告） 令和2年度農業関係試験研究計画について（報告） 令和3年度新規課題の概要について（重点的試験研究課題以外）（報告） 	事後評価：優れた研究であった 2課題
7月16日	農業関係試験研究機関評価部会	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度終了課題の事後評価及び継続課題の中間評価について（審議） 令和2年度農業関係試験研究計画について（報告） 普及に移す技術第95号について（報告） 	事後評価：優れた研究であった 2課題

		<ul style="list-style-type: none"> ・第9次試験研究推進構想の策定について（報告） 	
8月28日	農業関係試験研究機関評価部会	<ul style="list-style-type: none"> ・古川農業試験場の機関評価について（審議） 	総合評価：優れている
11月18日	内部評価委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度新規課題の事前評価について（審議） ・令和元年度終了課題（重点以外）の機関内部評価結果について（報告） ・令和3年度新規課題（重点以外）（案）の概要について（報告） ・第9次農業試験研究構想中間案及び令和3年度農業関係試験研究計画（素案）について（報告） 	事前評価：採択したほうが良い 1課題
12月8日	農業関係試験研究機関評価部会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度新規課題の事前評価について（審議） ・第9次農業試験研究構想中間案について（審議） ・令和元年度終了課題（重点以外）の機関内部評価結果について（報告） ・令和3年度農業関係試験研究計画（素案）について（報告） ・令和3年度新規課題（重点以外）の概要について（報告） 	事前評価：採択したほうが良い 1課題